

# 日本地震学会 2023 年度秋季大会

日程 2023 年 10 月 31 日(火)～11 月 2 日(木)

会場 パシフィコ横浜アネックスホール (横浜市)

【大会受付】 アネックスホール出入口付近

【A会場】 アネックスホール内 A 会場      【B会場】 アネックスホール内 B 会場

【C会場】 アネックスホール内 C 会場      【D会場】 アネックスホール内 D 会場

【授賞式および記念講演】 A 会場

【ポスター会場】 アネックスホール内フォワイエ + F203      【団体展示】 アネックスホール内フォワイエ + F203

|                     |                     | A 会場  | B 会場   | C 会場  | D 会場                            |
|---------------------|---------------------|---|--|---|---------------------------------|
| 10 月<br>31 日<br>(火) | 09:30<br>～<br>12:15 | S08. 地震発生の物理  | S23. 大正関東地震から 100 年：<br>関東地方における地震研究の展開      | S13. 地殻流体と地震<br>S03. 地殻変動・GNSS・重力                 | S22. 能登半島北東部の<br>群発地震と M6.5 の地震 |
|                     | 13:30<br>～<br>14:45 | S08. 地震発生の物理  | S04. テクトニクス                                  | S03. 地殻変動・GNSS・重力                                 | S22. 能登半島北東部の<br>群発地震と M6.5 の地震 |
|                     | 15:00<br>～<br>16:45 | S20. 授賞式および記念講演 (A 会場)  |  |   |                                 |
|                     | 17:00<br>～<br>18:30 | <b>【ポスターセッション】</b><br>S03. 地殻変動・GNSS・重力, S04. テクトニクス, S08. 地震発生の物理, S14. 地震予知・予測, S15. 強震動・地震災害,<br>S16. 地盤構造・地盤震動, S17. 津波, S22. 能登半島北東部の群発地震と M6.5 の地震,<br>S23. 大正関東地震から 100 年：関東地方における地震研究の展開                            |  |   |                                 |
| 11 月<br>1 日<br>(水)  | 09:30<br>～<br>12:30 | S08. 地震発生の物理  | S02. 地震計測・処理システム                             | S17. 津波   | S15. 強震動・地震災害                   |
|                     | 13:30<br>～<br>16:45 | S08. 地震発生の物理<br>S09. 地震活動とその物理  | S02. 地震計測・処理システム<br>S14. 地震予知・予測             | S06. 地殻構造<br>S05. 地球熱学<br>S12. 岩石実験・岩石力学・<br>地殻応力 | S15. 強震動・地震災害<br>S16. 地盤構造・地盤震動 |
|                     | 17:00<br>～<br>18:30 | <b>【ポスターセッション】</b><br>S01. 地震の理論・解析法, S02. 地震計測, S05. 地球熱学, S06. 地殻構造, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性,<br>S09. 地震活動とその物理, S10. 活断層・歴史地震, S11. 地震に伴う諸現象, S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力,<br>S18. 地震教育・地震学史, S19. 地震一般・その他, S21. 情報科学との融合による地震研究の加速 |  |   |                                 |
|                     | 19:00<br>～<br>21:00 | 懇親会 (会場: Fisherman's Market, みなとみらい東急スクエア 2 階)  |  |   |                                 |
| 11 月<br>2 日<br>(木)  | 09:15<br>～<br>12:00 | S09. 地震活動とその物理  | S19. 地震一般・その他<br>S21. 情報科学との融合による<br>地震研究の加速 | S10. 活断層・歴史地震<br>S01. 地震の理論・解析法                   | S18. 地震教育・地震学史                  |
|                     | 13:15<br>～<br>16:30 | S09. 地震活動とその物理  | S21. 情報科学との融合による<br>地震研究の加速                  | S01. 地震の理論・解析法                                    | S07. 地球及び惑星の<br>内部構造と物性         |

注: S11 の口頭発表と S13 のポスター発表はありません。

特別協力 公益社団法人横浜観光コンベンション・ビューロー

# 10月31日(火) 口頭発表

## A会場(アネックスホール内A会場) 午前 S08. 地震発生の物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 山下 太、安藤 亮輔  |
|--------------|---|
| 9:30 S08-01  | IODP Exp. 405 JTRACK: 東北沖地震震源断層掘削によるプレート境界断層の強度回復・応力蓄積過程の解明<br>*小平 秀一 <sup>1</sup> 、氏家 恒太郎 <sup>2</sup> 、廣瀬 文洋 <sup>1</sup> 、林 為人 <sup>3</sup> 、日野 亮太 <sup>4</sup> 、中村 恭之 <sup>1</sup> 、久保田 達矢 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 筑波大学、 <sup>3</sup> 京都大学、 <sup>4</sup> 東北大学、 <sup>5</sup> 防災科学研究所)                                     |
| 9:45 S08-02  | 幅広い時空間スケールに渡る断層すべり現象の理解に向けた巨大岩石摩擦試験機の開発<br>*山下 太 <sup>1</sup> 、福山 英 <sup>2,1</sup> 、大久保 蔵馬 <sup>1</sup> 、前田 純伶 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 京都大学大学院工学研究科)  |
| 10:00 S08-03 | Molecular Study of Rock Friction and Wear Mechanism Using a Pair of $\alpha$ -quartz Asperities<br>*Sheng Li, Eiichi Fukuyama (Kyoto University)  |
| 10:15 S08-04 | 振動によるせん断粉体の流動化における粒子数の影響<br>*坂本 龍之輔、波多野 恭弘(大阪大学)  |
| 10:30 S08-05 | Dynamic Rupture Simulation Reveals Fault Geometrical Effect on the 2023, Kahramanmaras and Ekinözü, Türkiye, Earthquake Sequence<br>*安藤 亮輔 <sup>1</sup> 、Pinar Ali <sup>2</sup> 、Ozener Haluk <sup>2</sup> 、Yalcinkaya Esref <sup>3</sup> 、山本 揚二郎 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学、 <sup>2</sup> ボアジチ大学、 <sup>3</sup> イスタンブール大学、 <sup>4</sup> 海洋研究開発機構) |
| 10:45        | 休憩  |
| 座長           | 中田 令子、佐藤 大祐   |
| 11:00 S08-06 | 動力学的断層破壊シミュレーションによる地表地震断層を伴った2014年長野県北部地震の応力条件の検討<br>*津田 健一 <sup>1</sup> 、宮藤 淳一 <sup>1</sup> 、岩田 直樹 <sup>2</sup> 、笹井 友司 <sup>2</sup> 、松井 章弘 <sup>2</sup> 、東 圭太 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 清水建設株式会社 安全安心技術センター、 <sup>2</sup> 中電技術コンサルタント)   |
| 11:15 S08-07 | マルチスケール円形パッチモデルを用いた地震発生サイクルの数値シミュレーション<br>*中田 令子 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>2</sup> 、青地 秀雄 <sup>3,4</sup> 、井出 哲 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> フランス地質調査所、 <sup>4</sup> ENS-CNRS PSL, France)  |
| 11:30 S08-08 | 不均一応力分布による非地震性エピソードすべりの発生<br>*加藤 尚之(東京大学地震研究所)  |
| 11:45 S08-09 | 内陸地震、プレート境界地震、粘弾性緩和の相互作用を同時に考慮した3次元弾動的地震シミュレーション<br>*松嶋 亮弥 <sup>1</sup> 、小澤 創 <sup>2</sup> 、安藤 亮輔 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学大学院理学系研究科、 <sup>2</sup> スタンフォード大学)  |
| 12:00 S08-10 | 南海沈み込み帯における、摩擦運動の相補性に基づいた固着域と高滑り欠損域の分離<br>*佐藤 大祐 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、深畑 幸俊 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所)   |

## A会場(アネックスホール内A会場) 午後 S08. 地震発生の物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 鈴木 岳人、廣瀬 仁  |
|--------------|---|
| 13:30 S08-11 | ゆっくり・高速地震遷移条件の解析的取り扱いとその妥当性<br>*鈴木 岳人、松川 宏(青山学院大学理工学部 物理科学科)  |
| 13:45 S08-12 | スロー地震とファスト地震と地震のモデル<br>*井出 哲(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)   |
| 14:00 S08-13 | プレート境界のせん断応力蓄積と地震エネルギー収支に基づくペルー海溝沿岸の巨大地震発生ポテンシャル評価<br>*ブリード ネルソン <sup>1</sup> 、Villegas-Lanza Juan Carlos <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所防災システム研究センター地震動予測地図作成プロジェクト、 <sup>2</sup> ペルー地球物理庁)                        |
| 14:15 S08-14 | プレート間ズルズリ滑り: その始まりと成長<br>*深尾 良夫 <sup>1</sup> 、杉岡 裕子 <sup>2</sup> 、古恵 亮 <sup>3</sup> 、久保田 達也 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 横浜研究所 海域地震火山部門、 <sup>2</sup> 神戸大学・理学研究科、 <sup>3</sup> 海洋研究開発機構 横浜研究所、 <sup>4</sup> 防災科研) |
| 14:30 S08-15 | 2011年東北地方太平洋沖地震直前の傾斜変動再訪: スタッキングによる検証<br>*廣瀬 仁 <sup>1,2</sup> 、加藤 愛太郎 <sup>3</sup> 、木村 武志 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大学、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>3</sup> 東京大学地震研究所)   |

## A会場(アネックスホール内A会場) 午後 S20. 授賞式および記念講演

記念講演(講演時間17分・質疑応答3分)

| 座長            | 前田 拓人、西村 卓也  |
|---------------|--|
| 15:00         | 会長挨拶   |
| 15:03         | 授賞式  |
| 15:18 S20-01# | 地震波トモグラフィーから見た地震火山活動と地球内部ダイナミクス<br>*趙 大鵬(東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター) |
| 15:38 S20-02# | 高自由度な震源過程イメージングによる破壊成長の複雑性と断層形状の関係の究明<br>*奥脇 亮(筑波大学)                   |
| 15:58 S20-03# | 固体・流体地球を考慮した海底圧力データ解析による地震・津波・火山噴火現象に関する研究<br>*久保田 達矢(防災科学技術研究所)       |
| 16:18 S20-04# | 地震識別手法の高度化に基づく地震動即時予測の改善と特異な地震活動の解明<br>*溜瀧 功史(気象研究所)                   |

## B会場(アネックスホール内B会場) 午前 S23. 大正関東地震から100年: 関東地方における地震研究の展開

招待講演(講演時間17分・質疑応答3分)  
通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長            | 友澤 裕介、林田 拓己   |
|---------------|---|
| 9:30 S23-01#  | 相模トラフ沿いの関東M8クラス地震の発生確率<br>*井元 政二郎、森川 信之、藤原 広行(防災科学技術研究所)  |
| 9:50 S23-02   | 歴史上のM8級関東地震の組み合わせによる将来の発生確率<br>*佐竹 健治 <sup>1</sup> 、石橋 克彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 神戸大学)   |
| 10:05 S23-03# | 伊豆衝突帯とその周辺における地殻構造と地震テクニクス<br>*本多 亮、安部 祐希、道家 涼介(神奈川県温泉地学研究所)  |
| 10:25 S23-04  | 関東地震の地震テクニクスにおける相模湾西部・初島の1923年地震隆起の重要性<br>*石橋 克彦(無所属)   |
| 10:40         | 休憩  |
| 座長            | 室谷 智子、山下 幹也   |
| 11:00 S23-05  | 震度観測などから見た1923年関東地震前の地震活動の変化<br>*浜田 信生、津村 建四朗(なし)   |
| 11:15 S23-06  | 相模トラフ前線断層先端部の構造的特徴<br>*山下 幹也 <sup>1</sup> 、三澤 文廉 <sup>1</sup> 、笠谷 貴史 <sup>2</sup> 、木下 正高 <sup>3</sup> 、三浦 誠一 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究部門、 <sup>2</sup> 国立研究開発法人 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 東京大学地震研究所)  |
| 11:30 S23-07  | 制御震源から見た関東地域のフィリピン海プレートの上面形状<br>*佐藤 比呂志 <sup>1,2</sup> 、阿部 進 <sup>3</sup> 、岩崎 貴哉 <sup>4,1</sup> 、松原 誠 <sup>5</sup> 、蔵下 英司 <sup>1</sup> 、石山 達也 <sup>1</sup> 、加藤 直子 <sup>1</sup> 、中山 貴隆 <sup>6</sup> 、平田 直 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学、 <sup>2</sup> 静岡大学、 <sup>3</sup> 株)地球科学総合研究所、 <sup>4</sup> 地震予知総合研究振興会、 <sup>5</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>6</sup> (独)エネルギー・金属鉱物資源機構) |
| 11:45 S23-08  | 千葉県北東部の地震による茨城県南東部の強震動<br>*植竹 富一、引間 和人(東京電力ホールディングス(株))   |
| 12:00 S23-09  | 関東大震災をどう伝え、どう残すかー デジタルコンテンツの活用ー<br>*室谷 智子(独立行政法人 国立科学博物館)   |

## B会場(アネックスホール内B会場) 午後 S04. テクトニクス

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 趙 大鵬   |
|--------------|--|
| 13:30 S04-01 | 2D subduction models in the presence of a high-density rigid continental block: a case study for the slab geometry beneath the Kii Peninsula.<br>*Erika Moreno <sup>1</sup> 、Vlad Manea <sup>2</sup> 、Marina Manea <sup>2</sup> 、Nobuaki Suenaga <sup>3</sup> 、Shoichi Yoshioka <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Kobe University、 <sup>2</sup> CGEO、Universidad Nacional Autónoma de México、 <sup>3</sup> Kyoto University) |
| 13:45 S04-02 | Seismological evidence of a shear zone inside the Philippine Sea plate slab in Suruga Bay.<br>*Yannis PANAYOTOPOULOS <sup>1</sup> 、Hisatoshi Baba <sup>2</sup> 、Takahito Nishimiya <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> Association for the Development of Earthquake Prediction、 <sup>2</sup> Tokai University、 <sup>3</sup> Meteorological Research Institute, Japan Meteorological Agency)                                   |
| 14:00 S04-03 | S-net+Hi-netの近地・遠地地震データによる日本列島下の3次元P波・S波速度トモグラフィー<br>*鈴木 基矢、趙 大鵬、豊田 源知(東北大学理学研究科 地震噴火予知研究観測センター)   |
| 14:15 S04-04 | ケルマデク・トンガ沈み込み温度場と地震分布変動<br>*朱 葉、季 穎鋒(中国科学院チベット高原研究所)   |

## B会場(アネックスホール内B会場) 午後 S03. 地殻変動・GNSS・重力

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 横田 裕輔、石川 直史   |
|--------------|---|
| 13:30 S03-09 | GNSS-Aによって取得される海洋場の表現<br>*横田 裕輔 <sup>1</sup> 、石川 直史 <sup>2</sup> 、渡邊 俊一 <sup>2</sup> 、中村 優斗 <sup>2</sup> 、永江 航也 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学生産技術研究所、 <sup>2</sup> 海上保安庁海洋情報部)   |
| 13:45 S03-10 | 差分地形による海底の地殻変動検出の試み<br>*石川 直史 <sup>1</sup> 、住吉 昌直、中村 優斗、伊牟田 圭(海上保安庁海洋情報部)   |
| 14:00 S03-11 | 超軽量・小型えい航ブイシステムを用いたGNSS-音響結合方式の海底地殻変動観測<br>*生田 領野 <sup>1</sup> 、原田 靖 <sup>2</sup> 、佐柳 敬造 <sup>2</sup> 、田所 敬一 <sup>3</sup> 、中畑 遼祐 <sup>1</sup> 、横田 裕介 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 静岡大学、 <sup>2</sup> 東海大学、 <sup>3</sup> 名古屋大学) |
| 14:15 S03-12 | 琉球海溝南西端、波照間海盆において取得したGNSS-Aデータの再解析<br>*中畑 遼祐 <sup>1</sup> 、生田 領野 <sup>1</sup> 、田所 敬一 <sup>2</sup> 、原田 靖 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 静岡大学、 <sup>2</sup> 名古屋大学、 <sup>3</sup> 東海大学)  |
| 14:30 S03-13 | ハイレートGNSSデータのノイズ解析に基づくプレートマッチングおよび相対力指数の数値実験<br>*新井 瑠子 <sup>1</sup> 、三井 雄太 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 静岡大学大学院総合科学技術研究科、 <sup>2</sup> 静岡大学理学部地球科学科)   |

## C会場(アネックスホール内C会場) 午前 S13. 地殻流体と地震 S03. 地殻変動・GNSS・重力

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | S13.稲津 大祐 / S03.小林 知勝   |
|--------------|---|
| 9:30 S13-01  | 2011年東北地震の発生直後に見られた震源直上海底付近の急激な水温上昇について<br>*稲津 大祐 <sup>1</sup> 、伊藤 喜宏 <sup>2</sup> 、日野 亮太 <sup>3</sup> 、谷川 亘 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京海洋大学、 <sup>2</sup> 京都大学、 <sup>3</sup> 東北大学、 <sup>4</sup> 海洋研究開発機構)   |
| 9:45 S13-02  | The 2011 Tohoku-Oki Earthquake Near-Trench Structural Evolution by Time-lapse Seismic Depth Imaging<br>*Ehsan Jamali Hondori <sup>1</sup> 、Jin-Oh Park <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Geoscience Enterprise Inc. (GSE)、 <sup>2</sup> Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo)   |
| 10:00 S03-01 | SARによる地殻変動解析で明らかにされた2023年トルコ・シリア地震の断層破壊の詳細<br>*小林 知勝 <sup>1</sup> 、宗包 浩志 <sup>1</sup> 、桑原 将旗 <sup>1</sup> 、古居 晴菜 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 国土交通省 国土地理院 地理地殻活動研究センター 宇宙測地研究室)  |
| 10:15 S03-02 | 喜界島の完新世海岸段丘の数値シミュレーション: 地震発生時期と地形変動の相互作用に基づく地殻変動史の解明<br>*神谷 猛 <sup>1</sup> 、伊藤 武男 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大学大学院環境学研究科、 <sup>2</sup> 名古屋大学大学院環境学研究所附属地震火山研究センター)  |
| 10:30 S03-03 | Interseismic deformation analysis due to megathrust locking using GNSS Data: A case study of southwestern Pakistan<br>*Parvaiz Shaukat <sup>1,2,3</sup> 、Fukushima Yo <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> International Research Institute of Disaster Science, Tohoku University Japan、 <sup>2</sup> Department of Earth Sciences, Quaid-i-Azam University Islamabad, Pakistan、 <sup>3</sup> Department of Geological Engineering, Balochistan University of I.T, Engineering and Management Sciences (BUITEMS), Quetta, Pakistan. ) |
| 10:45        | 休憩  |
| 座長           | 富田 史章、大塚 英人   |
| 11:00 S03-04 | 東北地方太平洋沖地震後の地震波減衰の時間変化<br>*手老 勇登、中島 淳一(東京工業大学)  |
| 11:15 S03-05 | 日本海溝・千島海溝沿いにおけるGNSS音響海底地観測とその成果<br>*富田 史章 <sup>1</sup> 、木戸 元之 <sup>1</sup> 、飯沼 卓史 <sup>2</sup> 、太田 雄策 <sup>3</sup> 、日野 亮太 <sup>3</sup> 、大園 真子 <sup>4</sup> 、高橋 浩晃 <sup>4</sup> 、プラタ・マルティネス・スライムド <sup>2</sup> 、野 徹雄 <sup>2</sup> 、中東 和夫 <sup>3</sup> 、中村 恭之 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学災害科学国際研究所、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>4</sup> 北海道大学大学院理学研究科、 <sup>5</sup> 東京海洋大学学術研究院)  |
| 11:30 S03-06 | 応力条件を拘束したインバージョン法による千島海溝南端プレート間固着状況<br>*今井 俊輔 <sup>1</sup> 、高橋 浩晃 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学 大学院理学院、 <sup>2</sup> 北海道大学 大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター)   |
| 11:45 S03-07 | 2011年東北沖地震以前の海底水圧データの再解析<br>*平田 京輔 <sup>1</sup> 、日野 亮太 <sup>1</sup> 、大塚 英人 <sup>1</sup> 、太田 雄策 <sup>1</sup> 、雄水 典久 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>2</sup> 気象研究所)  |
| 12:00 S03-08 | OBPデータに対するPCA適用によるSSE検出能力の事例研究ーヒクランギ沖、アラスカ半島沖の場合ー<br>*大塚 英人、太田 雄策、日野 亮太(東北大学大学院 理学研究科 地球物理学専攻)  |

## C会場(アネックスホール内C会場) 午後 S03. 地殻変動・GNSS・重力

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 岩田 知孝、大堀 道広  |
|--------------|--|
| 13:30 S22-10 | 能登半島北東部の群発地震によるK-NET正院の地震動特性と地下構造<br>*岩田 知孝 <sup>1</sup> 、浅野 公之 <sup>1</sup> 、宮本 英 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所地震防災研究部門、 <sup>2</sup> 京都大学大学院理学研究科)   |
| 13:45 S22-11 | 2023年5月5日能登地方の地震(M6.5)における珠洲市内臨時観測点の地震動記録について<br>*大堀 道広 <sup>1</sup> 、鈴木 晴彦 <sup>2</sup> 、岩田 知孝 <sup>3</sup> 、浅野 公之 <sup>3</sup> 、石塚 理 <sup>2</sup> 、村田 晶 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 滋賀県立大学 環境科学部、 <sup>2</sup> 応用地質株式会社、 <sup>3</sup> 京都大学 防災研究所、 <sup>4</sup> 金沢大学 理工研究域地球社会基盤学系) |
| 14:00 S22-12 | 石川県珠洲市正院地区における常時微動観測<br>*荒田 祥司 <sup>1</sup> 、村田 晶 <sup>2</sup> 、大堀 道広 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学理工学地域社会基盤学系、 <sup>2</sup> 金沢大学理工学地域社会基盤学系、 <sup>3</sup> 滋賀県立大学環境科学部)   |
| 14:15 S22-13 | 2023年能登地方を震源とする地震による木造建築の地震被害調査 その1 珠洲市における木造住宅の地震被害調査<br>*北川 裕壽 <sup>1</sup> 、村田 晶 <sup>1</sup> 、佐藤 弘美 <sup>2</sup> 、須田 達 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学、 <sup>2</sup> 金沢工業大学)  |
| 14:30 S22-14 | 2023年能登地方を震源とする地震による木造建築の地震被害調査 その3 寺院建築物の構造詳細調査に基づく被害および耐震性能<br>*近谷 卓馬 <sup>1</sup> 、佐藤 弘美 <sup>1</sup> 、須田 達 <sup>1</sup> 、村田 晶 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 金沢工業大学、 <sup>2</sup> 金沢大学)   |

## C会場(アネックスホール内C会場) 午後 S22. 能登半島北東部の群発地震とM6.5の地震

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 平松 良浩、西村 卓也  |
|--------------|--|
| 9:30 S22-01# | 冷たい沈み込み帯としての中部日本と能登半島下でのスラブ深部脱水<br>*岩森 光 <sup>1</sup> 、中村 仁美 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 産業技術総合研究所地質調査総合センター)  |
| 9:50 S22-02# | 能登群発地震震域周辺の地下比抵抗構造とその不均質性<br>*吉村 令慧 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>2</sup> 、後藤 忠徳 <sup>3</sup> 、笠谷 貴史 <sup>4</sup> 、宮町 凛太郎 <sup>1</sup> 、中川 潤 <sup>1</sup> 、山下 凪 <sup>3</sup> 、天野 玲 <sup>3</sup> 、深田 雅人 <sup>2</sup> 、杉井 天音 <sup>2</sup> 、乾 太生 <sup>1</sup> 、山崎 健一 <sup>1</sup> 、小松 信太郎 <sup>1</sup> 、岩堀 卓弥 <sup>1</sup> 、吉川 昌弘 <sup>1</sup> 、波岸 彩子 <sup>1</sup> 、長岡 愛理 <sup>1</sup> 、遠山 康人 <sup>1</sup> 、澤田 明宏 <sup>2</sup> 、張 策 <sup>2</sup> 、福岡 光輝 <sup>2</sup> 、陣出 湧也 <sup>2</sup> 、大島 由有希 <sup>2</sup> 、金沢 桃夏 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>2</sup> 金沢大学、 <sup>3</sup> 兵庫県立大学、 <sup>4</sup> 海洋研究開発機構) |
| 10:10 S22-03 | 2023年能登半島北東部M6.5の地震直後の地震活動について: 断層バルブモデルとの関連<br>*加藤 愛太郎(東京大学地震研究所)   |
| 10:25 S22-04 | 2023年5月5日のM6.5の地震を含む近年の石川県能登地方の地震活動<br>*岩切 一宏、菅沼 一成、野田 真彦、宮岡 一樹、舟越 実、秋山 加奈、廣田 伸之、青木 重樹(気象庁)  |

#は招待講演

# ポスター発表 10月31日(火)17:00~18:30 ポスター会場 (アネックスホール内フォワイエ+F203) S03, S04, S08, S14, S15, S16, S17, S22, S23

| S03P. 地殻変動・GNSS・重力  | S14P. 地震予知・予測   | S17P. 津波  |
|---|---|---|
| S03P-01 新潟ー神戸歪集中帯における歪場の時空間変化 -GNSSを用いた長期的解析-<br>*河端 浩希 <sup>1</sup> 、吉岡 祥一 <sup>2,1</sup><br>( <sup>1</sup> 神戸大学大学院理学研究科惑星学専攻、 <sup>2</sup> 神戸大学都市安全研究センター)  | S14P-01 有感地震の長い発生間隔は大地震の前兆ではない<br>*加藤 護(京大人間・環境学)   | S17P-01 大洋を横断する津波の波形成法の発展とその応用<br>*綿田 辰吾(東京大学地震研究所 地球計測系研究部門)   |
| S03P-02 2018年以降の西南日本のプレート間すべりの時空間変化<br>*小沢 慎三郎、宗包 浩志、水藤 尚(国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター)   | S14P-02 機械学習を用いた内陸地震発生確率の推定スキームの検討<br>*藤田 知之 <sup>1</sup> 、高橋 浩晃 <sup>2</sup> 、大園 真子 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 北海道大学大学院理学院、 <sup>2</sup> 北海道大学大学院理学研究院 附属地震火山研究観測センター)   | S17P-02 環太平洋で発生する津波の顕著後続波の可能性:津波伝播数値計算による試算<br>*村馬 弘晃、山本 剛晴(気象庁気象研究所地震津波研究部)  |
| S03P-03 南海トラフ域でのプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりの特徴とその整理について<br>*藤田 健一 <sup>1</sup> 、瀧山 弘明 <sup>1</sup> 、山名 泰隆 <sup>1</sup> 、舟越 実 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 気象庁地震火山部)   | S14P-03 日本列島付近の地震発生に影響する気圧分布の考察<br>*齋藤 謙一(所属無し)   | S17P-03 沖合観測網と津波干渉法を利用したリアルタイム津波予測の適用性<br>*今井 健太郎 <sup>1</sup> 、徳田 達彦 <sup>2,1</sup> 、王 宇晨 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>3,1</sup> 、有川 太郎 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>2</sup> 中央大学大学院理工学研究科、 <sup>3</sup> 防災科学技術研究所)   |
| S03P-04 駿河トラフ浅部におけるやや長期的なスロースリップイベントを網羅的に検出する試み<br>*菊地 祐次 <sup>1</sup> 、三井 雄太 <sup>2</sup> 、加納 将行 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 国立大学法人 静岡大学大学院、 <sup>2</sup> 国立大学法人 静岡大学、 <sup>3</sup> 国立大学法人 東北大学)   | <b>S15P. 強震動・地震災害</b>   | S17P-04 津波即時予測システムの高度化と実装<br>*高橋 成実 <sup>1</sup> 、今井 健太郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門)  |
| S03P-05 継続時間1時間のスロースリップイベント(4)<br>*勝間田 明男 <sup>1</sup> 、宮岡 一樹 <sup>2</sup> 、露木 貴裕 <sup>3</sup> 、板場 智史 <sup>4</sup> 、田中 昌之 <sup>3</sup> 、伊藤 武男 <sup>5</sup> 、高森 昭光 <sup>6</sup> 、新谷 昌人 <sup>6</sup> ( <sup>1</sup> 富山大学、 <sup>2</sup> 気象庁、 <sup>3</sup> 気象研究所、 <sup>4</sup> 産総研、 <sup>5</sup> 名古屋大学、 <sup>6</sup> 東大地震研究所)   | S15P-01 2023年Mw7.8トルコ地震の広帯域震源モデルと強震観測点の地盤増幅特性<br>*佐藤 智美(清水建設㈱技術研究所)   | S17P-05 明応東海地震の初期津波波源モデルの再検討<br>*楠本 聡、今井 健太郎、堀 高峰(海洋研究開発機構)   |
| S03P-06 2017-2022年における琉球海溝SSEの時空間発展<br>*坂上 啓 <sup>1</sup> 、田中 愛幸 <sup>1</sup> 、加納 将行 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学、 <sup>2</sup> 東北大学)   | S15P-02 2023年トルコ南東部の地震における地表地震断層と建物被害の関係<br>*中村 洋光 <sup>1</sup> 、門馬 直一 <sup>1</sup> 、内藤 昌平 <sup>1</sup> 、山田 哲也 <sup>2</sup> 、佐久間 理絵 <sup>2</sup> 、藤原 広行 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門、 <sup>2</sup> 株式会社パスコ)  | S17P-06 南部千島海溝沿いのアウトワライズ断層のモデル化と津波予測<br>*馬場 俊孝 <sup>1</sup> 、野 徹雄 <sup>2</sup> 、尾鼻 浩一郎 <sup>2</sup> 、今井 健太郎 <sup>2</sup> 、近真 直孝 <sup>3</sup> 、谷岡 勇市郎 <sup>4</sup> 、小平 秀一 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会基盤デザイン系、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>4</sup> 北海道大学)   |
| S03P-07 2004年紀伊半島沖地震による余効変動解析:3次元粘弾性構造の影響<br>*橋間 昭徳 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>2</sup> 、飯沼 卓史 <sup>2</sup> 、藤田 航平 <sup>3</sup> 、村上 颯太 <sup>3</sup> 、市村 強 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京学芸大学、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 東大地震研究所)  | S15P-03 観測できていない強烈な衝撃的鉛直地震波動についてー その10ー 無知と無関心が人を殺し、国を滅ぼす(3/3)ー<br>*前原 博(一財)地球システム総合研究所)  | S17P-07 2020年アラスカサンドポイント地震の津波波形逆解析<br>*内藤 瑛乃、馬場 俊孝(徳島大学大学院)   |
| S03P-08 弾性ー粘弾性媒質中の逆断層が作る非直観的な変形場について<br>*小出 鯉太郎 <sup>1</sup> 、深畑 幸俊 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学)   | S15P-04 地表地震断層の歪位分布に着目した浅部すべりのモデル化に関する検討ー 横ずれ断層の場合ー<br>*松元 康広 <sup>1</sup> 、宮腰 研 <sup>2</sup> 、高浜 勉 <sup>1</sup> 、井上 直人 <sup>3</sup> 、入倉 孝次郎 <sup>2</sup> 、釜江 克宏 <sup>4</sup><br>( <sup>1</sup> 構造計画研究所、 <sup>2</sup> 愛知工業大学、 <sup>3</sup> GRI財団、 <sup>4</sup> 京都大学複合原子力科学研究所)  | S17P-08 深層学習による海岸巨礫マッピングと礫移動計算ーフィリピン・ルソン島イロコスルテを例にー<br>*石村 大輔 <sup>1</sup> 、山田 圭太郎 <sup>2</sup> 、馬場 俊孝 <sup>3</sup> 、近真 直孝 <sup>4</sup> 、Ramos Noelynna <sup>6</sup> 、南館 健太 <sup>5</sup> 、Cantillep Ace6、Punzalan Clod6<br>( <sup>1</sup> 東京都立大学、 <sup>2</sup> 立命館大学、 <sup>3</sup> 徳島大学、 <sup>4</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>5</sup> 東北大学、 <sup>6</sup> フィリピン大学) |
| S03P-09 SGO-A観測点における測位解<br>*永江 航也 <sup>1</sup> 、横田 裕輔 <sup>2</sup> 、石川 直史 <sup>1</sup> 、渡邊 俊一 <sup>1</sup> 、中村 優斗 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海上保安庁海洋情報部、 <sup>2</sup> 東京大学生産技術研究所)   | S15P-05 強震動生成域モデルから計算される内陸地殻内地震の短周期レベルとスケールリング則に対するばらつき<br>*染井 一寛 <sup>1</sup> 、吉田 邦一 <sup>1</sup> 、宮腰 研 <sup>2</sup> 、釜江 克宏 <sup>3</sup> 、入倉 孝次郎 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 一般財団法人GRI財団、 <sup>2</sup> 愛知工業大学、 <sup>3</sup> 京都大学複合原子力科学研究所)   | <b>S22P. 能登半島北東部の群発地震とM6.5の地震</b>   |
| <b>S04P. テクトニクス</b>   | S15P-06 堆積層による波動場擾乱が断層破壊に影響する条件での滑り速度の特徴<br>*中辻 綾香、後藤 浩之(京都大学)  | S22P-01 能登半島北東部の群発地震活動域における海陸統合地震観測<br>*蔵下 英司 <sup>1</sup> 、酒井 慎一 <sup>2</sup> 、篠原 雅尚 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 東京大学大学院情報学環)   |
| S04P-01 九州下におけるホットブルームがフィリピン海スラブの屈曲に及ぼす影響(3)<br>*香西 夏葵 <sup>1</sup> 、末永 伸明 <sup>2</sup> 、吉岡 祥一 <sup>3,1</sup><br>( <sup>1</sup> 神戸大学 大学院理学研究科 惑星学専攻、 <sup>2</sup> 京都大学 防災研究所、 <sup>3</sup> 神戸大学都市安全研究センター)  | S15P-07 F-net広帯域強震記録で見た長周期地震動のスペクトル特性<br>*畑山 健(消防庁消防研究センター)   | S22P-02 非定常ETASモデルによる背景地震確率を考慮した能登半島の群発地震と潮汐との関係<br>*弘瀬 冬樹 <sup>1</sup> 、瀧淵 功史 <sup>1</sup> 、小林 昭夫 <sup>2</sup> 、前田 憲二 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 気象研究所 地震津波研究部、 <sup>2</sup> 気象庁 地震火山部)  |
| <b>S08P. 地震発生の物理</b>  | S15P-08 静岡県西部を対象とした南海トラフ巨大地震の長周期地震動シミュレーション(その2)<br>*中村 武史(一般財団法人電力中央研究所)   | S22P-03 能登半島北東部の群発地震に伴う震源マイグレーションの駆動過程<br>*寒河江 皓大、雨澤 勇太、内出 崇彦(産業技術総合研究所)  |
| S08P-01 2017年長野県東部の地震(Mj5.6)に関連する応力場<br>*飯尾 能久 <sup>1</sup> 、野木 ひかり <sup>1</sup> 、加藤 慎也 <sup>2</sup> 、冨阪 和秀 <sup>1</sup> 、澤田 麻沙代 <sup>1</sup> 、野田 俊太 <sup>3</sup> 、土井 一生 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>2</sup> 東大地震研究所、 <sup>3</sup> 鉄道総合技術研究所)  | S15P-09 南海トラフ沿いのプレート間地震を対象とした近地震源過程解析手法<br>*西宮 隆仁、弘瀬 冬樹(気象庁気象研究所)   | S22P-04 能登半島北東部の群発地震活動領域の震源メカニズム解と応力場<br>*高野 彩香 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>1</sup> 、行竹 洋平 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)   |
| S08P-02 ニューゼーランド南島北東部の応力場と1990年Lake Tennyson地震の断層活動の評価<br>*田上 綾香 <sup>1</sup> 、松野 愛弥 <sup>1</sup> 、岡田 知己 <sup>1</sup> 、Savage Martha <sup>2</sup> 、Townend John <sup>2</sup> 、松本 聡 <sup>3</sup> 、河村 優太 <sup>3</sup> 、飯尾 能久 <sup>4</sup> 、佐藤 将 <sup>1</sup> 、平原 聡 <sup>1</sup> 、木村 洲徳 <sup>1</sup> 、Bannister Stephen <sup>5</sup> 、Ristau John <sup>5</sup><br>( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、 <sup>2</sup> Victoria University of Wellington, New Zealand、 <sup>3</sup> 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター、 <sup>4</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>5</sup> GNS Science, New Zealand) | S15P-10 深層学習に基づく長周期地震動の即時予測実験(その2) 高層ビルの揺れの予測<br>*古村 孝志 <sup>1</sup> 、大石 裕介 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 九州大学データ駆動イノベーション推進本部)  | S22P-05 能登半島北東部における群発地震の応力降下量解析<br>*福岡 光輝 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>1</sup> 、山田 卓司 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学、 <sup>2</sup> 茨城大学)  |
| S08P-03 地震のメカニズム解から推定したトルコ周辺の応力場の空間変化の特徴と2023年2月6日の Mw 7.8地震破壊域の関係<br>*吉田 圭佑(東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)   | S15P-11 機械学習から推定した伝播方向を用いた地震動即時予測:距離減衰を導入したPLUM法の改善<br>*小寺 祐貴(気象庁気象研究所地震津波研究部)  | S22P-06 GNSS観測に基づく能登半島北東部の地殻変動と群発地震のメカニズム<br>*西村 卓也 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>2</sup> 、太田 雄策 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> 金沢大学、 <sup>3</sup> 東北大学)   |
| S08P-04 豊後水道スロースリップの有効法線応力の絶対量の推定<br>*笹川 陽二郎、佐藤 利典(千葉大学)  | S15P-12 深層学習と模擬データを用いたリアルタイム震度の予測<br>*太田 杏樹 <sup>1</sup> 、金 亜伊 <sup>1</sup> 、矢崎 友貴乃 <sup>1</sup> 、久保 久彦 <sup>2</sup> 、山崎 眞見 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 横浜市立大学、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)  | S22P-07 GNSSで観測された能登半島における地殻変動に関連した断層すべりの時空間発展の推定<br>*土井 惇慈、西村 卓也、宮崎 真一(京都大学)   |
| S08P-05 火星の低周波火震S1022aの特徴とその原因の可能性<br>*小谷 輝、久家 慶子(京都大学)   | S15P-13 cGANとGITを組み合わせて生成したSite-specific地震動のValidation<br>*友澤 裕介、山口 純輝、坂 敏秀(鹿島建設技術研究所)  | S22P-08 海岸の生物遺骸等からみた2023年能登半島北東部の地震(M6.5)に伴う地殻上下変動<br>*穴倉 正展 <sup>1</sup> 、越後 智雄 <sup>2</sup> 、行谷 佑一 <sup>1</sup> 、前杵 英明 <sup>3</sup> 、立石 良 <sup>4</sup> 、澤田 清 <sup>5</sup><br>( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、 <sup>2</sup> 株式会社環境地質、 <sup>3</sup> 法政大学、 <sup>4</sup> 富山大学、 <sup>5</sup> 富山大学大学院)  |
| S08P-06 乳内観測とDONETから捉えられた浅部スロースリップイベント:2020年3月と2023年3月との共通点・相違点の考察<br>*有吉 慶介 <sup>1</sup> 、飯沼 卓史 <sup>1</sup> 、山本 揚二郎 <sup>1</sup> 、宮澤 泰正 <sup>1</sup> 、Varlamov Sergey <sup>1</sup> 、松本 浩幸 <sup>1</sup> 、町田 祐弥 <sup>1</sup> 、Saffer Demian <sup>2</sup> 、荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、矢田 修一郎 <sup>1</sup> 、堀川 博紀 <sup>1</sup> 、末木 健太郎 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>3</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、小平 秀一 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> テキサス大学オースティン校、 <sup>3</sup> 防災科学技術研究所)  | S15P-14 cGANとGITを組み合わせて生成したSite-specific地震動を用いた大規模地震の評価<br>*山口 純輝、友澤 裕介、坂 敏秀、引田 智樹(鹿島建設株式会社 技術研究所)  | S22P-09 石川県珠洲市トンネル内でのTW-COTDR光ファイバセンシング技術による歪観測(初報)<br>*荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、宮澤 理絵 <sup>2</sup> 、田中 愛幸 <sup>3</sup> 、横引 貴史 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>2</sup> 京大防災研、 <sup>3</sup> 東大理)  |
| S08P-07 単一観測点のデータを用いたスロー地震の地震学的検出:日本・メキシコおよび世界の観測点への適用<br>*増田 滉己、井出 哲(東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻)  | S15P-15 ベジアンニューラルネットワークによる地震動予測式の構築<br>*岡崎 智久 <sup>1</sup> 、森川 信之 <sup>2</sup> 、藤原 広行 <sup>2</sup> 、上田 修功 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 理化学研究所 革新知能統合研究センター、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)   | S22P-10 2023年能登地方を震源とする地震による木造建築の地震被害調査 その2 寺院建築物の外観目視調査に基づく被害<br>*澤田 悠斗 <sup>1</sup> 、荒川拓磨 拓磨 <sup>1</sup> 、芝川 ほか <sup>1</sup> 、須田 達 <sup>1</sup> 、佐藤 弘美 <sup>1</sup> 、村田 晶 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 金沢工業大学、 <sup>2</sup> 金沢大学)  |
| S08P-08 ヒクラギ沈み込み帯北部におけるテクトニック微動活動とスロースリップイベントの時空間関係<br>*青山 都和子 <sup>1,2</sup> 、望月 公廣 <sup>1</sup> 、山下 裕亮 <sup>3</sup> 、山田 知朗 <sup>1</sup> 、Warren-Smith Emily <sup>4</sup> 、Jacobs Katie <sup>4</sup> 、Wallace Laura <sup>2</sup> 、Savage Martha <sup>5</sup> 、篠原 雅尚 <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻、 <sup>3</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>4</sup> GNS Science、 <sup>5</sup> GEOMAR、 <sup>6</sup> Victoria University of Wellington)  | S15P-16 統計的グリーン関数法と地震動予測式の融合による遠距離補正<br>*前田 宜浩 <sup>1</sup> 、中村 洋光 <sup>1</sup> 、藤原 広行 <sup>1</sup> 、赤木 翔 <sup>2</sup> 、関 航佑 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 三菱電機ソフトウェア株式会社)   | <b>S23P. 大正関東地震から100年: 関東地方における地震研究の展開</b>  |
| S08P-09 分布型音響センシングの歪波形データを用いた浅部微動の地震波エネルギー推定<br>*馬場 慧、荒木 英一郎(海洋研究開発機構)  | S15P-17 Relationships between the peak accelerations and static rotations of the S-net sensors in the Japan Trench area<br>*Yadab Prasad DHAKAL <sup>1</sup> 、Takashi Kunugi <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience)  | S23P-01 1433年永享関東地震が前回の140年後に発生した可能性<br>*石橋 克彦(無所属)   |
| S08P-10 Base地熱地帯における誘発地震データとその地震パラメタの評価<br>*吉光 奈奈 <sup>1</sup> 、棕平 祐輔 <sup>2</sup> 、淺沼 宏 <sup>3</sup><br>( <sup>1</sup> 京都大学大学院工学研究科、 <sup>2</sup> 東北大学流体科学研究所、 <sup>3</sup> 産業技術総合研究所)   | S15P-18 独立成分分析による面的推定震度分布の特徴抽出と類似度評価<br>*木村 武志 <sup>1</sup> 、鈴木 亘 <sup>1</sup> 、久保 久彦 <sup>1</sup> 、赤木 翔 <sup>2</sup> 、鈴木 里奈 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 三菱電機ソフトウェア)   | S23P-02 伊豆衝突帯とその周辺におけるフィリピン海プレートのモホ面形状<br>*安部 祐希 <sup>1</sup> 、本多 亮 <sup>1</sup> 、石瀬 素子 <sup>2</sup> 、酒井 慎一 <sup>3</sup> 、行竹 洋平 <sup>4</sup> 、道家 涼介 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神奈川県温泉地学研究所、 <sup>2</sup> 山形大学理学部、 <sup>3</sup> 東京大学大学院情報学環・学際情報学府、 <sup>4</sup> 東京大学地震研究所)   |
| S08P-11 Ocean microseisms recorded by Cuban seismic stations: time variations and spectral features<br>*Viana Poveda Brossard <sup>1</sup> 、Kiwamu Nishida <sup>2</sup> 、Bogdan Enescu <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> Department of Geophysics, Graduate School of Science, Kyoto University、 <sup>2</sup> Earthquake Research Institute, University of Tokyo)  | S15P-19 二次元有限要素法を用いた表層地形が地震動に与える影響の評価<br>*川辺 秀憲、山本 寛人(大阪大学 工学研究科 地球総合工学専攻 建築工学部門)   | S23P-03 RD法による今村式2倍強震計の固有周期と減衰定数の推定<br>*早川 崇 <sup>1</sup> 、片岡 修一 <sup>2</sup> 、佐藤 俊明 <sup>3</sup> 、岡田 敬一 <sup>1</sup> 、宮腰 淳一 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 清水建設株式会社 技術研究所、 <sup>2</sup> 弘前大学、 <sup>3</sup> 大崎総合研究所)   |
| S08P-12 広帯域地震計アレイによる地動回転成分の観測<br>*今西 和俊、矢部 優(産業技術総合研究所)   | S15P-20 時間領域の経験的地盤特性を利用した地震基盤波の推定<br>*赤澤 隆士(一財)GRI財団)   | S23P-04 関東地方下で発生する地震の震度分布についての検討:異常震域となる地震の整理<br>*石瀬 素子 <sup>1</sup> 、中村 亮一 <sup>2</sup> 、椎名 高裕 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 山形大学、 <sup>2</sup> 中村地震調査技術士事務所、 <sup>3</sup> 産産業総合研究所地質調査総合センター)   |
| S08P-13 横峰メランジュにおける石英脈濃集帯が放出する地震波のモデル化の試み<br>*矢部 優 <sup>1</sup> 、大坪 誠 <sup>1</sup> 、氏家 恒太郎 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、 <sup>2</sup> 筑波大学)  | <b>S16P. 地盤構造・地盤震動</b>  |   |
| S08P-14 2023年ロイヤリティ諸島南東部地震で発生した逆破壊伝播<br>*村上 明叶、八木 勇治、奥島 亮(筑波大学)   | S16P-01 通常の地震とスロー地震解析へむけた海底地震計のサイト増幅補正<br>*武村 俊介 <sup>1</sup> 、江本 賢太郎 <sup>2</sup> 、矢部 優 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 九州大学、 <sup>3</sup> 産業技術総合研究所)  |   |
| S08P-15 日本の地殻内地震における断層破壊伝播方向の特性<br>*柴田 律也 <sup>1</sup> 、麻生 尚文 <sup>1,2</sup><br>( <sup>1</sup> 東京工業大学理学院地球惑星科学系、 <sup>2</sup> 東京理科大学先進工学部物理工学科)   | S16P-02 自然地震記録を用いた自己相関関数:浅い地盤面の検出<br>*渡邊 慎真、竹中 博士(岡山大学)   |   |
| S08P-16 On Cavitation, Shock Waves, and Generation of Seaquakes<br>*上西 幸司(東京大学)   | S16P-03 岡山市北区津島地区における微動探査<br>*山田 伸之 <sup>1</sup> 、竹中 博士 <sup>2</sup> 、渡邊 慎真 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 高知大学、 <sup>2</sup> 岡山大学)  |   |
| S08P-17 地震のOFCモデルに現れる余震領域の拡大現象<br>*大谷 哲人、亀 伸樹(東京大学地震研究所)  | S16P-04 微動観測に基づく地すべり地域ー鳥根根多伎町ーの地盤震動特性と地盤構造<br>*野口 竜也、河野 勝宣(鳥取大学工学部社会システム土木系学科)  |   |
| S08P-18 高速・低速すべり共通の摩擦則を用いた数値実験:ダンピングの影響<br>*堀 高峰 <sup>1</sup> 、青地 秀雄 <sup>2</sup><br>( <sup>1</sup> 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> フランス地質調査所)   | S16P-05 Spectral amplification of ambient vibrations due to topography: Instrumental evidence from Chiba and Yamanashi Prefectures, Japan<br>*Anirban Chakraborty <sup>1</sup> 、Daiki Yamashita <sup>2</sup> 、Kodai Kato <sup>3</sup> 、Ryota Otake <sup>4</sup> 、Hisakazu Sakai <sup>1</sup> 、Hitoshi Morikawa <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> Hosei University、 <sup>2</sup> Railway Technical Research Institute、 <sup>3</sup> Kozo Keikaku Engineering Inc.、 <sup>4</sup> Oriental Consultants Global Co., Ltd.、 <sup>5</sup> Tokyo Institute of Technology) |   |
| S08P-19 動力学的震源モデルから推定される中央構造線断層帯(四国陸域)の最新イベント像<br>*加瀬 祐子、近藤 久雄、浦田 優美((国研)産業技術総合研究所)   | S16P-06 KiK-net釜石における2次元地盤モデル最適化検討<br>*笠松 健太郎 <sup>1</sup> 、野澤 貴 <sup>1</sup> 、渡辺 哲史 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 鹿島建設、 <sup>2</sup> 小堀輝二研究所)  |   |
| S08P-20 低速から中速度におけるグレイワックの鏡面生成条件と摩擦特性<br>*前田 純伶 <sup>1</sup> 、山下 太 <sup>1</sup> 、大久保 蔵馬 <sup>1</sup> 、福山 英一 <sup>2,1</sup> 、奥平 敬元 <sup>3</sup><br>( <sup>1</sup> 国研)防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 京都大学、 <sup>3</sup> 大阪公立大学)  |   |   |
| S08P-21 すべり開始位置を制御するために断層面に設置するガウジパッチの形状と生じる応力分布<br>*大久保 蔵馬 <sup>1</sup> 、山下 太 <sup>1</sup> 、福山 英一 <sup>2,1</sup><br>( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 京都大学大学院工学研究科)   |   |   |

# 11月1日(水) 口頭発表

| A会場 (アネックスホール内A会場) 午前<br>S08. 地震発生の物理<br>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)  | B会場 (アネックスホール内B会場) 午前<br>S02. 地震計測・処理システム<br>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)   | C会場 (アネックスホール内C会場) 午前<br>S17. 津波<br>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)  | D会場 (アネックスホール内D会場) 午前<br>S15. 強震動・地震災害<br>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)  |
|---|--|--|--|
| <p>座長 北 佐枝子、寺川 寿子</p> <p>9:30 S08-16 東海地方および豊後水道下の長期的スロースリップの発生に伴う海洋性プレート内での応力変化<br/>*北 佐枝子<sup>1</sup>、Houston Heidi<sup>2</sup>、矢部 優<sup>3</sup>、田中 佐千子<sup>4</sup>、浅野 陽一<sup>4</sup>、木村 武志<sup>4</sup>(<sup>1</sup>国立研究開発法人 建築研究所 国際地震工学センター、<sup>2</sup>南カリフォルニア大学、<sup>3</sup>国立研究開発法人 産業技術総合研究所、<sup>4</sup>国立研究開発法人 防災科学技術研究所)</p> <p>9:45 S08-17 Stress Change Driven Afterslip Following the 2016 Central Tottori Earthquake<br/>*Angela Meneses-Gutierrez, Tatsuhiko Saito (National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience (NIED))</p> <p>10:00 S08-18 剪断歪エネルギーと応力場の時間変化から推定した2016年熊本地震震源域の絶対応力場<br/>*寺川 寿子<sup>1</sup>、浅野 公之<sup>2</sup>、浦田 優美<sup>3</sup>(<sup>1</sup>名古屋大学大学院環境学研究所附属地震火山研究センター、<sup>2</sup>京都大学防災研究所、<sup>3</sup>産業技術総合研究所)</p> <p>10:15 S08-19 日本列島下の地殻内「内部摩擦係数」の分布推定<br/>*三井 雄太(静岡大学理学部地球科学科)</p> <p>10:30 S08-20 繰り返し地震の応力降下量のばらつき<br/>*中島 淳一<sup>1</sup>、長谷川 昭<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京工業大学大学院地球惑星科学系、<sup>2</sup>東北大学大学院理学研究科)</p> <p>10:45 休憩</p>  | <p>座長 篠原 雅尚、中川 茂樹</p> <p>9:30 S02-01 浅海用係留パイ方式海底観測システムの開発と実データの評価<br/>*篠原 雅尚<sup>1</sup>、酒井 慎一<sup>2,1</sup>(<sup>1</sup>東京大学地震研究所、<sup>2</sup>東京大学情報学環)</p> <p>9:45 S02-02 雑微動相互相関関数による短周期海底地震計の時刻補正<br/>*山花 弘明<sup>1</sup>、村井 芳夫<sup>2</sup>、篠原 雅尚<sup>3</sup>(<sup>1</sup>東京大学大学院理学系研究科、<sup>2</sup>北海道大学大学院理学研究院、<sup>3</sup>東京大学地震研究所)</p> <p>10:00 S02-03 レーザー干渉計を基準にした広帯域地震計の実振動応答校正<br/>*下田 智文、穀山 渉、野里 英明(産業技術総合研究所)</p> <p>10:15 S02-04 マルチプラットフォーム次世代WINシステムの開発(3)<br/>*中川 茂樹<sup>1</sup>、青山 裕<sup>2</sup>、高橋 浩晃<sup>2</sup>、前田 拓人<sup>3</sup>、山本 希<sup>4</sup>、鶴岡 弘<sup>1</sup>、青木 陽介<sup>1</sup>、内田 直希<sup>1</sup>、前田 裕太<sup>5</sup>、大見 士朗<sup>6</sup>、中道 治久<sup>6</sup>、大久保 慎人<sup>7</sup>、松島 健<sup>8</sup>、八木 原 寛<sup>9</sup>、汐見 勝彦<sup>10</sup>、榎平 賢司<sup>10</sup>、上田 英樹<sup>10</sup>、下山 利浩<sup>11</sup>、溜瀧 功史<sup>12</sup>、大竹 和生<sup>13</sup>、本多 亮<sup>14</sup>、関根 秀太郎<sup>15</sup>(<sup>1</sup>東京大学地震研究所、<sup>2</sup>北海道大学、<sup>3</sup>弘前大学、<sup>4</sup>東北大学、<sup>5</sup>名古屋大学、<sup>6</sup>京都大学、<sup>7</sup>高知大学、<sup>8</sup>九州大学、<sup>9</sup>鹿児島大学、<sup>10</sup>防災科学技術研究所、<sup>11</sup>気象庁、<sup>12</sup>気象研究所、<sup>13</sup>気象庁地磁気観測所、<sup>14</sup>神奈川県温泉地学研究所、<sup>15</sup>地震予知総合研究振興会)</p> <p>10:30 S02-05 S-netによる海徳海山における海底火山活動の検出<br/>*岩瀬 良一(国立研究開発法人海洋研究開発機構)</p> <p>10:45 休憩</p> | <p>座長 王 宇農、三反畑 修</p> <p>9:30 S17-01 Tsunami and Megathrust Earthquake Predictions: Real-time Monitoring of the Genesis Processes with Physical Wavelets<br/>*武田 文秀<sup>1,2</sup>(<sup>1</sup>株)武田エンジニアリング・コンサルタン、(<sup>2</sup>社)地震予知研究所)</p> <p>9:45 S17-02 南海トラフ沿い海域と伊豆・小笠原海溝沿い海域を対象とした1605年慶長津波波源モデルの検討<br/>*佐藤 嘉則<sup>1</sup>、木原 直人<sup>2</sup>、加藤 勝秀<sup>3</sup>(<sup>1</sup>株)ユニック、(<sup>2</sup>一財)電力中央研究所、(<sup>3</sup>中部電力(株))</p> <p>10:00 S17-03 非線形インバージョン法による1946年昭和南海地震及び1944年昭和東南海地震の断層モデルの推定<br/>*上谷 政人<sup>1</sup>、馬場 俊孝<sup>2</sup>(<sup>1</sup>徳島大学大学院創成科学研究科創成科学専攻、<sup>2</sup>徳島大学大学院産業理工学研究部)</p> <p>10:15 S17-04 DONET高密度海底水圧記録に基づく北硫黄島カルデラ起因の微小津波シグナルの検出<br/>*三反畑 修<sup>1</sup>、齊藤 竜彦<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学地震研究所、<sup>2</sup>防災科学技術研究所)</p> <p>10:30 休憩</p>   | <p>座長 野口 恵司、山田 真澄</p> <p>9:30 S15-01 緊急地震速報の震源推定手法のIPF法への一本化<br/>*野口 恵司<sup>1</sup>、溜瀧 功史<sup>2</sup>、林元 直樹<sup>1</sup>、小寺 祐貴<sup>2</sup>(<sup>1</sup>気象庁、<sup>2</sup>気象研究所)</p> <p>9:45 S15-02 強震波形記録による伝達関数を用いた長周期地震動の即時予測の数値実験<br/>*江成 徹平、古村 孝志(東京大学地震研究所)</p> <p>10:00 S15-03 Constructing an empirical envelope function of seismic waveforms for the evaluation of EEW in Japan<br/>*Hong Peng<sup>1</sup>, Stephen Wu<sup>1,2</sup>, Masumi Yamada<sup>3,4</sup>(<sup>1</sup>Institute of Statistical Mathematics, <sup>2</sup>The Graduate University for Advanced Studies, <sup>3</sup>Kyoto University, <sup>4</sup>Disaster Prevention Research Institute)</p> <p>10:15 S15-04 複数地震はどこまで分離可能か<br/>*山田 真澄(京都大学防災研究所地震防災研究部門)</p> <p>10:30 S15-05 観測点密度が観測される地震動の最大値に与える影響<br/>*青井 真、切刀 卓、鈴木 久、保 久彦、藤原 広行(防災科学技術研究所)</p> <p>10:45 休憩</p>  |
| <p>座長 八木 勇治、青柳 恭平</p> <p>11:00 S08-21 北日本の日本海東縁で発生した小地震の応力降下量解析<br/>*田中 美紗、山田 卓司(茨城大学)</p> <p>11:15 S08-22 北海道南東沖で沈み込む太平洋プレート上面の摩擦特性:小地震の応力降下量の解析<br/>*根本 菜々子、山田 卓司(茨城大学)</p> <p>11:30 S08-23 高自由度な震源過程モデルによって明らかになった階層的な破壊成長<br/>*八木 勇治、奥脇 亮(筑波大学)</p> <p>11:45 S08-24 2021年サウスサンドウィッチ諸島地震における複雑な震源過程<br/>*山口 諒、八木 勇治、奥脇 亮(筑波大学)</p> <p>12:00 S08-25 地震波速度構造から推定される2016年熊本地震の震源断層北東端部における破壊停止要因<br/>*青柳 恭平、木村 治夫((一財)電力中央研究所)</p>  | <p>座長 田中 昌之、辻 修平</p> <p>11:00 S02-06 分布型音響センシング(DAS)を用いた東南海沖ケーブルでの振動観測<br/>*田中 昌之(気象庁気象研究所)</p> <p>11:15 S02-07 地表に設置した螺旋型と直線型の光ファイバケーブルを用いたDASにより計測された地震・微動の比較<br/>*榎谷 将吾、成瀬 涼平、小林 拓輝(株式会社INPEX)</p> <p>11:30 S02-08 地表設置光ファイバケーブルでのDAS計測における2台のインテロゲーターおよび異なるケーブル敷設条件での地震記録の比較<br/>*成瀬 涼平、榎谷 将吾、小林 拓輝(株式会社INPEX)</p> <p>11:45 S02-09 鉄道沿線の既設光ファイバケーブルに適用したDASを用いた早期地震警報アルゴリズムの開発<br/>*片上 智史<sup>1</sup>、荒木 英一郎<sup>2</sup>、高橋 成実<sup>3</sup>、野田 俊太<sup>1</sup>、是永 将宏<sup>1</sup>、岩田 直泰<sup>1</sup>(<sup>1</sup>公財)鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター 地震解析、<sup>2</sup>海洋研究開発機構、<sup>3</sup>防災科学技術研究所)</p> <p>12:00 S02-10 DASによる地震観測データのコーダ波到着時刻の自動読み取り手法の開発<br/>*堀内 茂木<sup>1</sup>、佐藤 優子<sup>1</sup>、平山 義治<sup>2</sup>、山手 勉<sup>2</sup>、幾井 賢<sup>2</sup>、吉田 稔<sup>2</sup>、浅井 康広<sup>3</sup>、中島 由雄<sup>3</sup>、内藤 陽一郎<sup>3</sup>、藤原 広行<sup>4</sup>(<sup>1</sup>ホームサイズモータ、<sup>2</sup>白山工業、<sup>3</sup>東京パワテックロジ、<sup>4</sup>防災科技研)</p>  | <p>座長 三反畑 修、王 宇農</p> <p>11:00 S17-05 海洋波のグラフィオメトリ解析(2): 振幅項に着目した2022年トンガ津波の伝播過程<br/>*小木曾 仁、対馬 弘晃(気象研究所)</p> <p>11:15 S17-06 津波数値計算における正確な減衰を表現するための新たな摩擦計算の検討<br/>*南 雅晃(気象庁気象研究所地震津波研究部)</p> <p>11:30 S17-07 データ同手法による津波警報解除の予測可能性に関する検討<br/>*王 宇農、今井 健太郎、堀川 博紀(海洋研究開発機構)</p> <p>11:45 S17-08 アジョイント方程式に基づく津波波動場推定の数値実験<br/>*前田 拓人(弘前大学大学院理工学研究科)</p>  | <p>座長 倉橋 稔、後藤 浩之</p> <p>11:00 S15-06 予測のためのEGTDの推定<br/>*堀家 正則(株式会社阪神コンサルタンツ)</p> <p>11:15 S15-07 階層パッチモデルが生産する断層破壊プロセスのスケール特性<br/>*後藤 浩之(京都大学)</p> <p>11:30 S15-08 Comparative study of temporal variation of coseismic velocity in Korea and Japan<br/>*鄭 泰雄<sup>1</sup>、Umer Faisal<sup>1</sup>、吉本 和生<sup>2</sup>(<sup>1</sup>世宗大学(韓)、<sup>2</sup>横浜市立大学(日))</p> <p>11:45 S15-09 強震動生成メカニズムと動的パラメータとの関係 ー平成28年熊本地震を例にー<br/>*宮本 英<sup>1</sup>、浅野 公之<sup>2</sup>、岩田 知孝<sup>2</sup>(<sup>1</sup>京都大学大学院理学研究科、<sup>2</sup>京都大学防災研究所)</p> <p>12:00 S15-10 すべり量分布のトリミング前とトリミング後の計算波形の比較による断層破壊領域の抽出<br/>*倉橋 稔、宮腰 研(愛知工業大学)</p>   |
| <p><b>A会場 (アネックスホール内A会場) 午後</b><br/><b>S08. 地震発生の物理</b><br/><b>S09. 地震活動とその物理</b><br/>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)</p> <p>座長 S08.吉田 圭佑/S09.千葉 慶太</p> <p>13:30 S08-26 地殻内地震におけるMw5.1付近を境とした震源パラメータのスケールリング則の変化<br/>*新本 翔太、三宅 弘恵(東京大学地震研究所)</p> <p>13:45 S08-27 2016年に福島-茨城沖で発生したMw7.0の正断層型地震周辺における高精度震源決定: S-netデータを用いた解析<br/>*松本 圭晶<sup>1</sup>、吉田 圭佑<sup>1</sup>、内田 直希<sup>1,2</sup>、久保田 達矢<sup>3</sup>、松澤 暢<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大学、<sup>2</sup>東京大学地震研究所、<sup>3</sup>防災科学技術研究所)</p> <p>14:00 S08-28 下部地殻で発生する微小地震とその発生メカニズム:広島県西部直下の深部クラスター活動の事例<br/>*今西 和俊、内出 崇彦(産業技術総合研究所)</p> <p>14:15 S08-29 2020年末ごろから継続する能登半島北東部の群発地震活動中に発生した2023年 MjMA 6.5 珠洲市の地震<br/>*吉田 圭佑(東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)</p> <p>14:30 S09-01 ブータン王国の国家地震観測網の構築支援(2)<br/>*大見 士朗<sup>1</sup>、井上 公<sup>2</sup>、NEPAL Nityam<sup>3</sup>、NAMGAY Karma<sup>3</sup>、DRUKPA Dowchu<sup>3</sup>(<sup>1</sup>京都大学防災研究所 附属地震災害研究センター、<sup>2</sup>防災科学技術研究所、<sup>3</sup>ブータン資源省地質鉱山局)</p> <p>14:45 S09-02 明治から昭和にかけての気象庁の地震観測点の変遷の可視化<br/>*橋本 徹夫<sup>1</sup>、室谷 智子<sup>2</sup>(<sup>1</sup>防災科学技術研究所、<sup>2</sup>国立科学博物館)</p> <p>15:00 休憩</p> | <p><b>B会場 (アネックスホール内B会場) 午後</b><br/><b>S02. 地震計測・処理システム</b><br/><b>S14. 地震予知・予測</b><br/>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)</p> <p>座長 片上 智史</p> <p>13:30 S02-11 海底深部長期孔内観測システムの開発と南海トラフへの設置計画<br/>*荒木 英一郎<sup>1</sup>、町田 祐弥<sup>1</sup>、横引 貴史<sup>1</sup>、辻 修平<sup>1</sup>、松本 浩幸<sup>1</sup>、西田 周平<sup>1</sup>、馬場 慧<sup>1</sup>、青池 寛<sup>2</sup>、中村 恭之<sup>1</sup>、有吉 慶介<sup>1</sup>、堀 高峰<sup>1</sup>、小平 秀一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構 海域地震火山部門、<sup>2</sup>海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用部門)</p> <p>13:45 S02-12 海底孔内光ファイバ歪センサの開発<br/>*町田 祐弥、荒木 英一郎、横引 貴史、猿橋 具和、辻 修平、松本 浩幸(海洋研究開発機構)</p> <p>14:00 S02-13 海底孔内光ファイバ歪計の神岡鉱山での試験観測<br/>*辻 修平、荒木 英一郎、松本 浩幸、町田 祐弥、横引 貴史(海洋研究開発機構)</p> <p>14:15 S02-14 神岡鉱山における 20 m ボアホール間隙水圧の長期連続観測データの解析<br/>*松本 浩幸、町田 祐弥、辻 修平、横引 貴史、有吉 慶介、荒木 英一郎(海洋研究開発機構)</p>   | <p><b>C会場 (アネックスホール内C会場) 午後</b><br/><b>S06. 地殻構造</b><br/><b>S05. 地球熱学</b><br/><b>S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力</b><br/>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)</p> <p>座長 白石 和也、福島 駿</p> <p>13:30 S06-01 地震波干渉法で検出される海底下構造の時空間変化とその解釈<br/>*佐藤 豪大<sup>1</sup>、東 龍介<sup>1</sup>、高木 涼太<sup>1</sup>、日野 亮太<sup>1</sup>、篠原 雅尚<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東北大学、<sup>2</sup>東京大学地震研究所)</p> <p>13:45 S06-02 岩手県三陸沖におけるDASデータを用いた海域浅部P波速度およびVp/Vs構造推定<br/>*福島 駿<sup>1,2</sup>、篠原 雅尚<sup>2</sup>、望月 公廣<sup>2</sup>、山田 知朗<sup>2</sup>、日野 亮太<sup>3</sup>、東 龍介<sup>3</sup>、伊藤 嘉宏<sup>4</sup>、山下 裕亮<sup>4</sup>(<sup>1</sup>東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、<sup>2</sup>東京大学地震研究所、<sup>3</sup>東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター、<sup>4</sup>京都大学防災研究所)</p> <p>14:00 S06-03 Lateral structure variation across the central part of the NE Japan Arc deduced from the 2019 onshore seismic profiling -II<br/>*岩崎 貴哉<sup>1</sup>、佐藤 比呂志<sup>2</sup>、蔵下 英司<sup>3</sup>、石毛 英彦<sup>4</sup>、清水 英彦<sup>5</sup>、石山 達也<sup>3</sup>、飯高 隆<sup>3</sup>、篠原 雅尚<sup>3</sup>、川崎 慎治<sup>4</sup>、阿部 進<sup>4</sup>、平田 直<sup>3</sup>(<sup>1</sup>地震予知総合研究振興会、<sup>2</sup>静岡大学防災総合センター、<sup>3</sup>東京大学地震研究所、<sup>4</sup>(株)地球科学総合研究所、<sup>5</sup>(独)エネルギー・金属鉱物資源機構)</p> <p>14:15 S06-04 日本海溝アウターライズの浅部地殻構造および正断層群の活動性評価<br/>*孫 岳<sup>1</sup>、宮川 歩夢<sup>2</sup>、尾鼻 浩一郎<sup>3</sup>、Jamali Hondori Ehsan<sup>4</sup>、朴 進年<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学 大気海洋研究所、<sup>2</sup>産業技術総合研究所、<sup>3</sup>海洋研究開発機構、<sup>4</sup>(株)ジオサイエンス)</p> <p>14:30 S06-05 17世紀千島海溝地震震源域の地殻構造と浅部大すべりのかかわり<br/>*東 龍介<sup>1</sup>、小平 秀一<sup>2</sup>、日野 亮太<sup>1</sup>、藤江 剛<sup>2</sup>、尾鼻 浩一郎<sup>2</sup>、富田 史章<sup>3</sup>、太田 雄策<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、<sup>2</sup>海洋研究開発機構、<sup>3</sup>東北大学災害科学国際研究所)</p> <p>14:45 S06-06 南海トラフ熊野灘の付加体詳細構造 ~OBS構造探査データの再解析~<br/>*藤江 剛<sup>1</sup>、白石 和也<sup>1</sup>、佐藤 壮<sup>2</sup>、中村 恭之<sup>1</sup>、木村 学<sup>1</sup>、小平 秀一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構、<sup>2</sup>気象庁)</p> | <p><b>D会場 (アネックスホール内D会場) 午後</b><br/><b>S15. 強震動・地震災害</b><br/><b>S16. 地盤構造・地盤震動</b><br/>通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)</p> <p>座長 小穴 温子、長坂 陽介</p> <p>13:30 S15-11 2023年トルコ南東部で発生した地表断層を伴う地震による強震動特性<br/>*香川 敬生(鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科学地圏環境工学研究室)</p> <p>13:45 S15-12 2023年トルコ地震の強震記録から推定される震源過程の特徴<br/>*長坂 陽介、野津 厚(港湾空港技術研究所)</p> <p>14:00 S15-13 特性化震源モデルに基づく2023年トルコ・カフランマラシ地震(Mw7.7)の地表地震断層近傍の強震記録の再現<br/>*貴堂 峻至<sup>1</sup>、永野 正行<sup>2</sup>、宮腰 研<sup>1</sup>、新井 健介<sup>1</sup>、佐藤 俊明<sup>1</sup>(<sup>1</sup>大阪総合研究所、<sup>2</sup>東京理科大学)</p> <p>14:15 S15-14 特性化震源モデルに基づく2023年トルコ後発地震(Mw 7.6)の破壊伝播速度に着目した地震動シミュレーション<br/>*金山 聖<sup>1</sup>、貴堂 峻至<sup>2</sup>、劉 虹<sup>1</sup>、永野 正行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京理科大学、<sup>2</sup>(株)大崎総合研究所)</p> <p>14:30 S15-15 経験的グリーン関数法を用いた2000年鳥取県西部地震における広帯域の強震動シミュレーションに関する研究<br/>*春日 秀俊<sup>1</sup>、久田 嘉章<sup>1</sup>、田中 信也<sup>2</sup>(<sup>1</sup>工学院大学、<sup>2</sup>東電設計株式会社)</p> <p>14:45 S15-16 特性化震源モデルに基づく2022年台東地震(Mw6.9)の断層浅部すべりに関する検討<br/>*小穴 温子<sup>1</sup>、宮腰 研<sup>2</sup>、吉田 昌平<sup>2</sup>、佐藤 俊明<sup>2</sup>(<sup>1</sup>清水建設株式会社、<sup>2</sup>株式会社大崎総合研究所)</p> |

#は招待講演

**A会場（アネックスホール内A会場）午後**  
S08. 地震発生の物理  
S09. 地震活動とその物理

**B会場（アネックスホール内B会場）午後**  
S02. 地震計測・処理システム  
S14. 地震予知・予測

**C会場（アネックスホール内C会場）午後**  
S06. 地殻構造  
S05. 地球熱学  
S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力

**D会場（アネックスホール内D会場）午後**  
S15. 強震動・地震災害  
S16. 地盤構造・地盤震動

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

通常講演（講演時間12分・質疑応答3分）

座長 汐見 勝彦、馬場 慧

座長 井元 政二郎

座長 S06.東 龍介 / S12.矢部 康男

座長 S15.平井 敬 / S16.長 郁夫

15:15 S09-03 分布型音響センシングによる津軽海峡周辺のリアルタイム地震観測  
\*馬場 慧<sup>1</sup>、荒木 英一郎<sup>1</sup>、横引 貴史<sup>1</sup>、川真田 桂<sup>2</sup>、内山 敬介<sup>2</sup>、吉塚 卓史<sup>2</sup>(<sup>1</sup>海洋研究開発機構、<sup>2</sup>電源開発株式会社)

15:15 S14-01 古地震時系列に基づく更新過程Brownian Passage Time分布モデルに関する考察  
\*井元 政二郎、森川 信之、藤原 広行(防災科学技術研究所)

15:15 S06-07 南海トラフにおける海上反射法探査と海底地震計広角反射法探査の統合的データ解析  
\*白石 和也、藤江 剛、新井 隆太、中村 恭之(海洋研究開発機構)

15:15 S15-17 振動実験に基づく展示状態にある刀剣類の地震時挙動の検討  
\*平井 敬<sup>1</sup>、手塚 朋子<sup>2</sup>、高野 美希<sup>3</sup>、飛田 潤<sup>3</sup>(<sup>1</sup>兵庫県立大学、<sup>2</sup>東建コーポレーション、<sup>3</sup>名古屋大学)

15:30 S09-04 Seismic activity around plate boundary near westernmost Nankai trough revealed by ocean bottom seismometer observation  
\*胡 麗好<sup>1,2</sup>、篠原 雅尚<sup>2</sup>、山下 裕亮<sup>3</sup>、山田 知朗<sup>2</sup>、悪原 岳<sup>2</sup>、望月 公広<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学理学系研究科、<sup>2</sup>東京大学地震研究所、<sup>3</sup>京都大学防災研究所)

15:30 S14-02 内陸地震発生評価に向けた西南日本における地殻変動と地震活動特性の検討  
\*原 太郎<sup>1</sup>、高橋 浩晃<sup>2</sup>(<sup>1</sup>北海道大学大学院理学院、<sup>2</sup>北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター)

15:30 S06-08 上盤プレート内の破砕帯と弱いプレート間固着を生み出す九州パラオ海嶺の沈み込み構造  
\*新井 隆太<sup>1</sup>、白石 和也<sup>1</sup>、中村 恭之<sup>1</sup>、藤江 剛<sup>1</sup>、三浦 誠一<sup>1</sup>、小平 秀一<sup>1</sup>、Bassett Dan<sup>2</sup>、高橋 努<sup>1</sup>、海宝 由佳<sup>1</sup>、濱田 洋平<sup>1</sup>、望月 公廣<sup>3</sup>、仲田 理映<sup>3</sup>、木下 正高<sup>3</sup>、Ma Yanxue<sup>3</sup>、橋本 善孝<sup>4</sup>、沖野 郷子<sup>5</sup>(<sup>1</sup>国立研究開発法人海洋研究開発機構、<sup>2</sup>GNS Science、<sup>3</sup>東京大学地震研究所、<sup>4</sup>高知大学、<sup>5</sup>東京大学大気海洋研究所)

15:30 S15-18 地域性を考慮した非エルゴード的アプローチによる地震動予測式の改良  
\*森川 信之、藤原 広行(防災科学技術研究所)

15:45 S09-05 海底地震観測による北海道沖南部千島海溝アウターライズ域の地震活動  
\*尾鼻 浩一郎、野 徹雄、三浦 亮、中村 恭之、藤江 剛、今井 健太郎、三浦 誠一、小平 秀一(海洋研究開発機構)

15:45 S14-03 緊急地震速報(PLUM法)の2023年トルコ・シリア地震への適用  
\*森永 優<sup>1</sup>、山田 真澄<sup>2</sup>(<sup>1</sup>京都大学大学院理学研究科、<sup>2</sup>京都大学防災研究所)

15:45 S05-01 スロー地震発生要因としての間隙流体：沈み込んだ海山周辺の熱構造から推定する試み  
\*木下 正高<sup>1</sup>、橋本 善孝<sup>2</sup>、濱田 洋平<sup>3</sup>、仲田 理映<sup>1</sup>(<sup>1</sup>東京大学地震研究所、<sup>2</sup>高知大学、<sup>3</sup>海洋研究開発機構)

15:45 S15-19 地震動予測式の残差からみた平野毎の地盤増幅の違い  
\*田中 裕人<sup>1</sup>、松浦 律子<sup>2</sup>、古村 美津子<sup>2</sup>、高浜 勉<sup>1</sup>(<sup>1</sup>株式会社 構造計画研究所、<sup>2</sup>公益財団法人 地震予知総合研究振興会 地震調査研究センター)

16:00 S09-06 MeSO-netに基づく東北地方太平洋沖地震発生直後の余震活動の検出  
\*今寺 琢朗<sup>1</sup>、加藤 愛太郎<sup>1</sup>、酒井 慎一<sup>2</sup>(<sup>1</sup>東京大学地震研究所、<sup>2</sup>東京大学大学院情報学環・学際情報学府)

16:00 S14-04 No Evidence of Magnitude Dependence in Earthquake Triggering  
\*Giuseppe Pettrillo, Jiansang Zhuang(Institute of Statistical Mathematics (ISM))

16:00 S12-01 石英ガウジの摩擦の素過程に対する水蒸気の影響  
\*矢部 康男(東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター)

16:00 S16-01 関東地域の微動H/Vスペクトルピーク周波数マップ：都市域の地質地盤図におけるコンテンツの追加  
\*長 郁夫<sup>1</sup>、先名 重樹<sup>2</sup>、野々垣 進<sup>1</sup>、中澤 努<sup>1</sup>、小松原 純子<sup>1</sup>(<sup>1</sup>産業技術総合研究所 地質情報研究部門、<sup>2</sup>防災科学技術研究所)

16:15 S09-07 南海トラフ周辺を対象とした三次元地震波速度構造に基づく初動発震機構解の推定  
\*汐見 勝彦、松原 誠、関口 涉次(防災科学技術研究所)

16:15 S12-02 大阪平野下盤における原位置地殻応力(7)ー防災科  
研大阪観測井におけるコア変形法測定ー  
\*小村 健太郎(防災科学技術研究所 地震津波防災研究部門)

16:15 S16-02 国道3号DAS観測における地震波干渉法を用いた日奈久断層沿いの浅部構造推定  
\*濱中 悟<sup>1</sup>、江本 賢太郎<sup>2</sup>(<sup>1</sup>九州大学大学院理学部地球惑星科学専攻、<sup>2</sup>九州大学理学研究院)

16:30 S09-08 長野県西部地域で発生したM3-4クラスの地震の前震活動の時空間的特徴  
\*野田 雄貴<sup>1</sup>、片尾 浩<sup>2</sup>、飯尾 能久<sup>2</sup>(<sup>1</sup>京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻、<sup>2</sup>京都大学防災研究所)

16:30 S16-03 複数の機材を用いたDAS試験観測による地盤振動モニタリング性能の比較  
\*藤原 広行<sup>1</sup>、中村 洋光<sup>1</sup>、功刀 卓<sup>1</sup>、内藤 昌平<sup>1</sup>、先名 重樹<sup>1</sup>、佐藤 昌人<sup>1</sup>、櫻井 健<sup>2</sup>、小西 千里<sup>2</sup>、鈴木 晴彦<sup>2</sup>、武部 真樹<sup>3</sup>(<sup>1</sup>防災科学技術研究所、<sup>2</sup>応用地質株式会社、<sup>3</sup>三菱電機ソフトウェア株式会社)

#は招待講演



# 11月2日(木) 口頭発表

## A会場(アネックスホール内A会場) 午前 S09. 地震活動とその物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 熊澤 貴雄、松浦 律子   |
|--------------|---|
| 9:15 S09-09  | 点過程モデルから見える能登半島群発地震活動の時空間変動について<br>*熊澤 貴雄、尾形 良彦(統計数理研究所)  |
| 9:30 S09-10  | A hypocentral version of the spherical space-time ETAS model<br>*Yongbo Li <sup>1</sup> , Jiancang Zhuang <sup>2</sup> , Shi Chen <sup>1</sup><br>( <sup>1</sup> Institute of Geophysics, China Earthquake Administration, <sup>2</sup> The Institute of Statistical Mathematics, Research Organization of Information and Systems) |
| 9:45 S09-11  | 系統的な欠測を伴う地震カタログから実際の活動率変化の推定<br>*尾形 良彦、熊澤 貴雄(統計数理研究所)   |
| 10:00 S09-12 | 十年前に相対的静穏化が検出された北海道南東沖の地震活動度の現在の状態<br>*松浦 律子、石辺 岳男(公益財団法人地震予知総合研究振興会)   |
| 10:15 S09-13 | ETASモデルとAICを用いた群発地震検出手法の開発の試み(序報)<br>*吉村 嶺 <sup>1</sup> 、西川 友章 <sup>2</sup> 、西村 卓也 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京大理工、 <sup>2</sup> 京大防災研)  |
| 10:30        | 休憩  |
| 座長           | 勝俣 啓、楠城 一嘉  |
| 10:45 S09-14 | 南米地域の地震活動長期静穏化と空振り事例について<br>*勝俣 啓(北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター)  |
| 11:00 S09-15 | 現在の地殻変動から推定される日本でのせん断ひずみエネルギーの変化と地殻内地震活動との空間的相関関係<br>*上田 拓、西村 卓也(京大防災研究所)   |
| 11:15 S09-16 | 2023年トルコ、カフラマンマラシュ地震による静的応力変化と地震応答<br>*遠田 晋次 <sup>1</sup> 、スタイン ロス <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学災害科学国際研究所、 <sup>2</sup> テンブラー社)  |
| 11:30 S09-17 | 静岡県伊東沖の地震活動の解析<br>*楠城 一嘉 <sup>1,2,3,4</sup> 、行竹 洋平 <sup>5</sup> 、熊澤 貴雄 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 静岡県立大学、 <sup>2</sup> 静岡大学、 <sup>3</sup> 統計数理研究所、 <sup>4</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>5</sup> 東京大学)   |

## A会場(アネックスホール内A会場) 午後 S09. 地震活動とその物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 飯高 隆、松本 聡  |
|--------------|--|
| 13:15 S09-19 | 近畿地方における地震発生層下限<br>*松原 誠 <sup>1</sup> 、佐藤 比呂志 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科研、 <sup>2</sup> 東大地震研)  |
| 13:30 S09-20 | “地震モーメント比”とb値による地殻応力状態評価の試み<br>*松本 聡(九州大学大学院理学研究院地震火山観測研究センター)   |
| 13:45 S09-21 | 地震波放射エネルギーに基づいた2016年熊本地震の前駆的地震活動の評価: 間隙水圧と載荷速度変化の影響<br>*織茂 雅希、吉田 圭佑、松澤 暢、長谷川 昭(東北大学理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター)   |
| 14:00 S09-22 | 箱根火山での群発地震における非地震性滑りの寄与<br>*河合 哲朗 <sup>1</sup> 、行竹 洋平 <sup>1</sup> 、道家 涼介 <sup>2</sup> 、本多 亮 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 神奈川県立防災研究所)   |
| 14:15 S09-23 | いわき地域における地震活動の推移と地殻内反射面との関係<br>*飯高 隆 <sup>1</sup> 、日田 優太 <sup>2</sup> 、岩森 光 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学 情報学環、 <sup>2</sup> 株式会社 ユニック、 <sup>3</sup> 東京大学 地震研究所)  |
| 14:30 S09-24 | Searching for Very Low Frequency Earthquake (VLFE) around Western Kuril Trench<br>*Novia Angraini, Hiroaki Takahashi(Institute of Seismology and Volcanology, Hokkaido University)   |
| 14:45        | 休憩   |
| 座長           | 西川 友章、松澤 孝紀  |
| 15:00 S09-25 | 1988年4月に東海地方で発生した短期的SSE時のアナログ波形記録を用いた微動活動の解析<br>*松澤 孝紀、武田 哲也(防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)   |
| 15:15 S09-26 | 2011年東北沖地震前後の日本海溝北部における通常地震と浅部テクトニック微動の連動活動<br>*松本 一駿 <sup>1</sup> 、日野 亮太 <sup>1</sup> 、高橋 秀輔 <sup>2</sup> 、大柳 修慧 <sup>3</sup> 、篠原 雅尚 <sup>4</sup> 、伊藤 喜宏 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>2</sup> 一般財団法人電力中央研究所、 <sup>3</sup> 京都大学大学院理学研究科、 <sup>4</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>5</sup> 京都大学防災研究所) |
| 15:30 S09-27 | 北海道沖千島海溝での浅部微動分布に相関する構造<br>*山口 寛登 <sup>1</sup> 、小平 秀一 <sup>2</sup> 、藤江 剛 <sup>2</sup> 、野 徹雄 <sup>2</sup> 、中村 恭之 <sup>2</sup> 、白石 和也 <sup>2</sup> 、鳥 伸和 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大学、 <sup>2</sup> 国立研究開発法人海洋研究開発機構)  |
| 15:45 S09-28 | 偏波特性を用いた到達時刻差検測法と相対震源決定による日本海溝北部におけるテクトニック微動分布<br>*源 孝祐、日野 亮太、松本 一駿(東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)  |
| 16:00 S09-29 | 低周波地震活動統計モデルの比較—低周波地震活動の発生メカニズムへの示唆—<br>*西川 友章(京大防災研究所)  |
| 16:15 S09-30 | Source-Scanning Algorithmを共通的に用いた浅部微動・浅部VLFEの時空間発展の推定<br>*根岸 幹 <sup>1</sup> 、小原 一成 <sup>1</sup> 、武村 俊介 <sup>1</sup> 、惠原 岳 <sup>1</sup> 、山下 裕亮 <sup>2</sup> 、杉岡 裕子 <sup>3</sup> 、篠原 雅尚 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 京大防災研究所、 <sup>3</sup> 神戸大学)                                      |

## B会場(アネックスホール内B会場) 午前 S19. 地震一般・その他 S21. 情報科学との融合による地震研究の加速

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | S19.久保 久彦/S21.石辺 岳男  |
|--------------|--|
| 9:15 S19-01  | データDOIの引用情報に基づく防災科MOWLASデータ活用状況(2019-2022年)把握の試み<br>*久保 久彦、汐見 勝彦(防災科学技術研究所)  |
| 9:30 S19-02  | MERMAIDで検出された2022年トンガ火山噴火に伴うT-phase解析<br>*村上 聡 <sup>1</sup> 、吉光 淳子 <sup>2</sup> 、Joel SIMON <sup>3</sup> 、Yong YU <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大学大学院理学研究科惑星学専攻、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> プリンストン大学、 <sup>4</sup> 南方科技大学)  |
| 9:45 S21-01  | 震度分布データを用いた機械学習による震源推定の試み<br>*石辺 岳男 <sup>1,2</sup> 、小川 陽子 <sup>3</sup> 、田中 裕人 <sup>3</sup> 、木内 亮太 <sup>3</sup> 、高浜 勉 <sup>3</sup> 、坂元 一雄 <sup>3</sup> 、西條 裕介 <sup>3</sup> 、古村 美津子 <sup>1</sup> 、松浦 律子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 公益財団法人地震予知総合研究振興会、 <sup>2</sup> 統計数理研究所、 <sup>3</sup> 構造計画研究所) |
| 10:00 S21-02 | 早期地震警報のための深層学習を用いた震央距離推定<br>*野田 俊太(公財)鉄道総合技術研究所)   |
| 10:15 S21-03 | Application of Convolutional Neural Networks for Seismic Velocity Model Building Using "Realistic" Synthetic Data<br>*于 凡 <sup>1</sup> 、Jamali Hondori Ehsan <sup>2</sup> 、朴 進午 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学、 <sup>2</sup> 株式会社ジオサイエンス)  |
| 10:30        | 休憩   |
| 座長           | 矢野 恵佑、田中 優介  |
| 10:45 S21-04 | GNSS-A海底地殻変動観測の解析における渡辺エイズの活用<br>*渡邊 俊一 <sup>1</sup> 、石川 直史 <sup>1</sup> 、中村 優斗 <sup>1</sup> 、永江 航也 <sup>1</sup> 、横田 裕輔 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海上保安庁海洋情報部、 <sup>2</sup> 東京大学生産技術研究所)  |
| 11:00 S21-05 | GNSS速度ベクトルのクラスタリングによる地殻ブロックの同定: 平行移動とオイラーベクトル推定に基づくアプローチ<br>*矢野 恵佑 <sup>1</sup> 、高橋 温志 <sup>2</sup> 、加納 将行 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 統計数理研究所、 <sup>2</sup> 理化学研究所、 <sup>3</sup> 東北大学理学研究科)   |
| 11:15 S21-06 | 機械学習による西南日本のGNSS変位時系列中の短期SSE自動検出の試み<br>*田中 優介、加納 将行(東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻)   |
| 11:30 S21-07 | 日本の活断層や火山の微小変動検出を目的としたINSARデータへの深層学習適用の困難性<br>*福島 洋(東北大学災害科学国際研究所)   |
| 11:45 S21-08 | Transformerエンコーダーを用いた解釈可能な火山性地震の分類手法の開発<br>*鈴木 悠悟、金 亜伊、山崎 真真(横浜市立大学)   |

## B会場(アネックスホール内B会場) 午後 S21. 情報科学との融合による地震研究の加速

招待講演(講演時間17分・質疑応答3分)  
通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 縣 亮一郎、加藤 慎也   |
|--------------|---|
| 13:15 S21-09 | 深層学習・人工知能の原理に迫る理論の試み<br>*今泉 允聰(東京大学 総合文化研究科)  |
| 13:35 S21-10 | データ駆動型アプローチによる地震理解の可能性: 他の情報学アプリケーションから学ぶ<br>*ウ ステファン(統計数理研究所)  |
| 13:55 S21-11 | デーブラーニング地震学: 現状と今後の展開への期待<br>*平原 和朗 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 理化学研究所革新知能統合研究センター、 <sup>2</sup> 香川大学)  |
| 14:15 S21-12 | 深層学習による地殻変動データからの断層形状およびすべり分布同時推定の試み<br>*岡崎 智久、平原 和朗、上田 修功(理化学研究所 革新知能統合研究センター)   |
| 14:30 S21-13 | 物理深層学習の断層すべり計算への適用: ばねブロックモデルにおけるSSE数値計算・摩擦特性推定・すべり予測<br>*福嶋 陸斗 <sup>1</sup> 、加納 将行 <sup>2</sup> 、平原 和朗 <sup>3,4</sup> ( <sup>1</sup> 京大大学院理学部、 <sup>2</sup> 東北大学理学研究科、 <sup>3</sup> 理化学研究所、 <sup>4</sup> 香川大学) |
| 14:45        | 休憩  |
| 座長           | 寒河江 皓大、森川 耕輔  |
| 15:00 S21-14 | 少量データに適用可能な地震波検出モデルの転移学習: マルチブル・クラスタリングを用いた二段階アプローチ<br>*徳田 智徳 <sup>1</sup> 、長尾 大道 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 東京大学大学院情報理工学系研究科)   |
| 15:15 S21-15 | S-net全観測点を用いた畳み込みニューラルネットワークによる通常地震・微動・ノイズの分類<br>*寒河江 皓大 <sup>1</sup> 、加納 将行 <sup>2</sup> 、内出 崇彦 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所、 <sup>2</sup> 東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻)                                       |
| 15:30 S21-16 | Score-CAMを用いたテクトニック微動の震源決定方法の開発<br>*杉井 天音 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>1</sup> 、内出 崇彦 <sup>2</sup> 、今西 和俊 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学、 <sup>2</sup> 産業技術総合研究所)   |
| 15:45 S21-17 | 自己励起性のある余震検出確率とその本震直後のb値の時間変化推定への応用<br>*森川 耕輔 <sup>1</sup> 、長尾 大道 <sup>2</sup> 、平田 直 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 大阪大学、 <sup>2</sup> 東京大学、 <sup>3</sup> 防災科学技術研究所)   |
| 16:00 S21-18 | Detection of changes in global background and clustering seismicity<br>*庄 建倉 <sup>1,2</sup> 、熊 子瑠 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 統計数理研究所、 <sup>2</sup> 総合研究大学院大学先端学術院、 <sup>3</sup> 中国地震局地質研究所)                    |

## C会場(アネックスホール内C会場) 午前 S10. 活断層・歴史地震 S01. 地震の理論・解析法

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 服部 健太郎、小松原 琢   |
|--------------|--|
| 9:15 S10-01  | 1854年安政南海地震と同日の中国の水面動揺の発生時刻<br>*服部 健太郎(関西大学)   |
| 9:30 S10-02  | 子の刻および丑の刻に発生した歴史地震の日付の再考<br>*亀井 佑馬 <sup>1</sup> 、藤織 一起 <sup>2</sup> 、大木 聖子 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 慶應義塾大学総合政策学部、 <sup>2</sup> 慶應義塾大学SFC研究所、 <sup>3</sup> 慶應義塾大学環境情報学部)                       |
| 9:45 S10-03  | 沿岸浅海域の海底活断層調査における三次元高分解能音波探査の有用性<br>*川崎 慎治、原 彰男、小澤 岳史(㈱地球科学総合研究所)  |
| 10:00 S10-04 | 奈良盆地東縁・帯解断層近傍の浅層ボーリングと断層帯の平均変位速度<br>*小松原 琢(産業技術総合研究所 地質情報研究部門 平野地質研究グループ)  |
| 10:15 S10-05 | 布田川断層帯宇土半島北岸区間における高分解能マルチチャンネル反射法音波探査<br>*大上 隆史 <sup>1</sup> 、多良 賢二 <sup>2</sup> 、久保 尚大 <sup>2</sup> 、向山 建二郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 活断層・火山研究部門、 <sup>2</sup> 川崎地質株式会社) |
| 10:30        | 休憩   |
| 座長           | 山谷 里奈、水谷 歩   |
| 10:45 S01-01 | 地震波形の振幅の確率密度関数に基づく直達波の強調法 ~2011年東北地方太平洋沖地震の地震波放射源分布の推定~<br>*大島 光貴 <sup>1</sup> 、竹中 博士 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 清水建設、 <sup>2</sup> 岡山大学)   |
| 11:00 S01-02 | 断層近傍の海底地震計・水圧計記録を用いた地震時変位波形の推定<br>*水谷 歩 <sup>1</sup> 、Melgar Diego <sup>2</sup> 、蓬田 清 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学、 <sup>2</sup> オレゴン大学)  |
| 11:15 S01-03 | S-net観測波形を用いたM6クラス地震のセントロイド・モーメントテンソル解析<br>*山谷 里奈 <sup>1</sup> 、久保 久彦 <sup>1</sup> 、汐見 勝彦 <sup>1</sup> 、武村 俊介 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)                     |
| 11:30 S01-04 | 微小地震分布を用いた断層面抽出手法の開発と茨城・福島県境地域への適用<br>*綿貫 元起 <sup>1</sup> 、安藤 亮輔 <sup>1</sup> 、加藤 愛太郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学大学院理学系研究科、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)   |
| 11:45 S01-05 | 時空間境界積分方程式法の高速化手法FDP=Lattice H行列法の近似精度評価<br>*富冨 拓光 <sup>1</sup> 、安藤 亮輔 <sup>1</sup> 、伊田 明広 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構)  |

## C会場(アネックスホール内C会場) 午後 S01. 地震の理論・解析法

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 須田 直樹、行竹 洋平   |
|--------------|---|
| 13:15 S01-06 | 地震波干渉法による伊豆大島の長期的な地震波速度構造の推定<br>*行竹 洋平 <sup>1</sup> 、平 貴昭 <sup>2</sup> 、鬼澤 真也 <sup>3</sup> 、森田 裕一 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> カリフォルニア大学バークレー校地震研究所、 <sup>3</sup> 気象庁気象研究所、 <sup>4</sup> 防災科学技術研究所)  |
| 13:30 S01-07 | Constraining Lithospheric Transverse Isotropy Using the Non-double Couple Components of the Moment Tensors<br>*川勝 均 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 中央研究院地球科学研究所)   |
| 13:45 S01-08 | Extended Model Space to Account for Effects of Subwavelength Heterogeneities in Full Waveform Inversion Based on Wavefield Gradients<br>*坂本 浩太 <sup>1</sup> 、Capdeville Yann <sup>2</sup> 、Sneha Singh <sup>2</sup> 、辻 健 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 九州大学、 <sup>2</sup> ナント大学、 <sup>3</sup> 京大工学) |
| 14:00 S01-09 | 浅部超低周波地震の相関法による震央決定<br>*須田 直樹(広島大学)   |
| 14:15 S01-10 | アジョイント方程式に基づく、2次元P-SV波動場及び震源推定の試み<br>*森田 貴晴 <sup>1</sup> 、古村 孝志 <sup>1</sup> 、前田 拓人 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 弘前大学大学院理工学系研究科)   |
| 14:30 S01-11 | 近地地震波動計算法: reflectivity法への重力効果と密度成層(勾配)を含む流体層の導入<br>*竹中 博士 <sup>1</sup> 、渡邊 慎賢 <sup>2</sup> 、中村 武史 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域、 <sup>2</sup> 岡山大学 大学院自然科学研究科、 <sup>3</sup> 一般財団法人電力中央研究所)  |
| 14:45        | 休憩  |
| 座長           | 川方 裕則、平野 史朗   |
| 15:00 S01-12 | 確率的震源時間関数を用いた地震動シミュレーション<br>*平野 史朗(立命館大学)   |
| 15:15 S01-13 | 三重県南東沖における地震波速度と震源のPhysics-informed neural networkによるアンサンブル推定<br>*縣 亮一郎、白石 和也、藤江 剛(海洋研究開発機構)  |
| 15:30 S01-14 | Ocean infragravity waveによるRayleigh waveの励起<br>*正本 義宗、西田 究(東京大学地震研究所)  |
| 15:45 S01-15 | 湾地形が表面波にもたらす効果<br>*安本 陵巧、平野 史朗、川方 裕則(立命館大学)   |
| 16:00 S01-16 | 不均質媒質を透過する弾性波のふるまい(1) ~不均質強さによる差異を明らかにするために~<br>*川方 裕則(立命館大学)   |
| 16:15 S01-17 | 地震学の主な公式が間違っていることが気象庁によって証明された<br>*田内 雄司(所属なし)  |

## D会場(アネックスホール内D会場) 午前 S18. 地震教育・地震学史

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

| 座長           | 根本 泰雄、加納 靖之   |
|--------------|---|
| 9:15 S18-01  | 南海トラフ地震臨時情報の認知度と対応行動に関する意識調査<br>*林 能成 <sup>1</sup> 、大谷 竜 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 関西大学 社会安全学部、 <sup>2</sup> 産業技術総合研究所 地質調査総合センター)  |
| 9:30 S18-02  | 保育施設職員を対象としたナラティブ・アプローチによる机上シミュレーションの効果<br>*浜上 あかり <sup>1</sup> 、大木 聖子 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科、 <sup>2</sup> 慶應義塾大学 環境情報学部)  |
| 9:45 S18-03  | 留学生・帰国生を対象にした「防災小説」の実践とその効果<br>*薄井 慧 <sup>1</sup> 、萩野 美咲 <sup>2</sup> 、矢野 佳恋 <sup>1</sup> 、大木 聖子 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、 <sup>2</sup> 慶應義塾大学 環境情報学部)   |
| 10:00 S18-04 | 学校管理下での大地震発生に伴う課題整理と実効的な避難訓練のあり方—小学校での実動訓練を中心としたアクション・リサーチ<br>*佐甲 かほ子 <sup>1</sup> 、大倉 加子 <sup>3</sup> 、奥津 颯太 <sup>2</sup> 、大木 聖子 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 慶應義塾大学総合政策学部、 <sup>2</sup> 慶應義塾大学環境情報学部、 <sup>3</sup> 慶應義塾大学政策・メディア研究科)   |
| 10:15 S18-05 | コンセン(差)し込み方式小型地震計による室内震度計測実験(2)<br>*平田 直 <sup>1</sup> 、古屋 貴司 <sup>2</sup> 、鶴岡 弘 <sup>1</sup> 、Schorlemmer Danijel <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 消防防災科学センター、 <sup>3</sup> GFZ)   |
| 10:30        | 休憩  |
| 座長           | 加納 靖之、林 能成  |
| 10:45 S18-06 | 教員サマースクール2023 in 丹那 & 神奈川西部地域開催の意義<br>*根本 泰雄 <sup>1</sup> 、荒井 賢一 <sup>2</sup> 、伊東 明彦 <sup>3</sup> 、加納 靖之 <sup>4</sup> 、桑野 修 <sup>5</sup> 、佐藤 明子 <sup>6</sup> 、朱里 泰治 <sup>7</sup> 、山野 誠 <sup>8</sup> 、南島 正重 <sup>9</sup> 、吾妻 崇 <sup>10</sup> 、道家 涼介 <sup>11</sup> ( <sup>1</sup> 立命館大理工、 <sup>2</sup> 栄東高、 <sup>3</sup> 放送大、 <sup>4</sup> 東大震研、 <sup>5</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>6</sup> 平塚市立金目五領ヶ台分校、 <sup>7</sup> 洛星中高、 <sup>8</sup> 東大気海洋研、 <sup>9</sup> 都立両国中高、 <sup>10</sup> 産総研、 <sup>11</sup> 温地研) |
| 11:00 S18-07 | 第22回地震火山地質こどもサマースクールin平塚「湘南の海のみくみ地震のみみつ」でこども達が発見したこと<br>*佐藤 諒弥 <sup>1</sup> 、藤岡 藍 <sup>1</sup> 、山田 美智子 <sup>2</sup> 、原田 信夫 <sup>2</sup> 、佐藤 明子 <sup>3</sup> 、加納 靖之 <sup>4</sup> 、野崎 高 <sup>5</sup> 、松原 誠 <sup>6</sup> 、横山 光 <sup>7</sup> 、室谷 智子 <sup>8</sup> 、穴倉 正展 <sup>9</sup> ( <sup>1</sup> 慶應義塾大学、 <sup>2</sup> ひらつか防災まちづくりの会、 <sup>3</sup> 平塚市立金目中学校五領ヶ台分校、 <sup>4</sup> 東大地震研、 <sup>5</sup> 平塚市博物館、 <sup>6</sup> 防災科研、 <sup>7</sup> 北翔大、 <sup>8</sup> 国立科学博物館、 <sup>9</sup> 産総研)             |
| 11:15 S18-08 | 地震史料を用いた体験授業<br>*加納 靖之 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 東京大学地震火山史料連携研究機構)  |
| 11:30 S18-09 | 水ノ子灯台の地震記録の資料的意義について<br>*松島 文子(豊州戦史研究会)   |

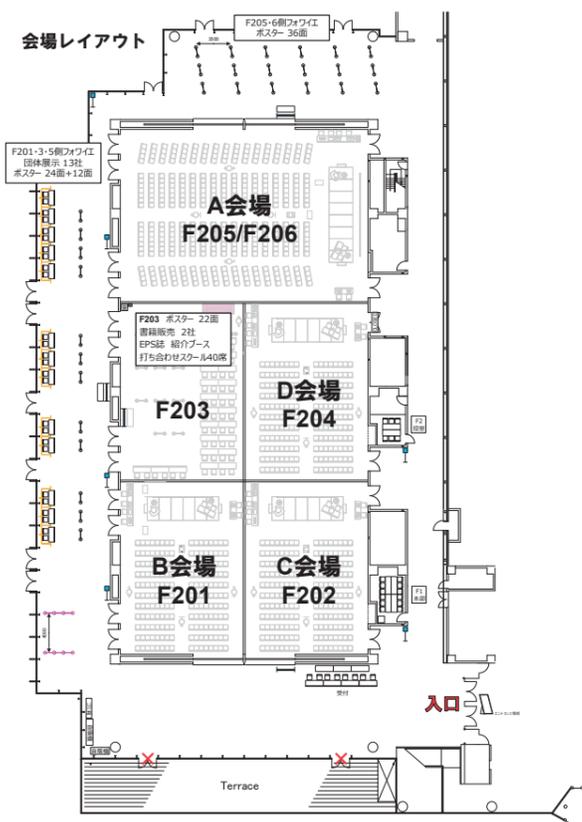
## D会場(アネックスホール内D会場) 午後 S07. 地球及び惑星の内部構造と物性

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

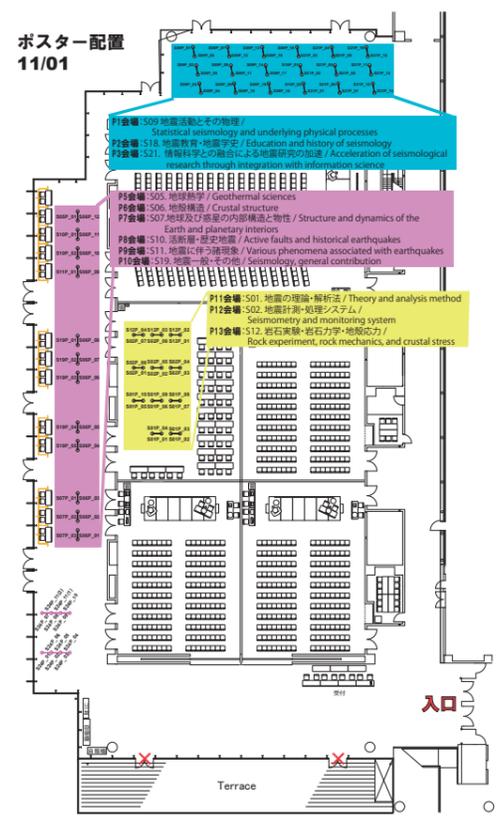
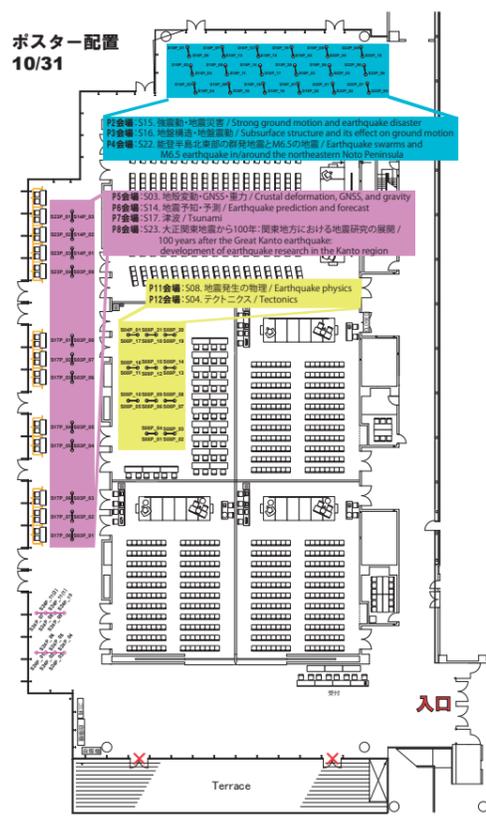
| 座長           | 久家 慶子、森重 学  |
|--------------|---|
| 13:15 S07-01 | 中央海嶺-トランスフォーム断層系における溶け残りマントルの不均質性<br>*森重 学(東京大学地質研究所)   |
| 13:30 S07-02 | 地震対蹠点のPKPab波を用いたアジョイントインバージョンによるマントル底部のP波速度推定<br>*坪井 誠司 <sup>1</sup> 、Butler Rhett <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構横浜研究所 地球情報基盤センター、 <sup>2</sup> ハワイ大学)  |
| 13:45 S07-03 | 日本海北部におけるマントル遷移層底部の二重地震波速度不連続面<br>*久家 慶子(京都大学大学院理学研究科地球物理学教室)   |
| 14:00 S07-04 | 3成分を使用した波形インバージョンによる南大西洋下D領域の3次元S波速度構造推定<br>*大鶴 啓介、河合 研志(京大工学)  |
| 14:15 S07-05 | 波形インバージョンによる地震波3成分を用いた中米下D領域の3次元S-P波速度構造推定<br>*佐藤 嶺、河合 研志(京大工学)   |
| 14:30 S07-06 | Dense reflection survey shows link between geometrical and physical property changes in the Nankai Trough with slow earthquake activity<br>*Paul Caesar Mason Flores <sup>1,2</sup> 、Shuichi Kodaira <sup>2,1</sup> 、Gaku Kimura <sup>2</sup> 、Kazuya Shiraiishi <sup>2</sup> 、Yasuyuki Nakamura <sup>2</sup> 、Gou Fujie <sup>2</sup> 、Tetsuo No <sup>2</sup> 、Yuuka Kaiho <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Graduate School of Environment and Information Sciences, Yokohama National University、 <sup>2</sup> Research Institute for Marine Geodynamics, Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology) |
| 14:45        | 休憩  |
| 座長           | 大滝 壽樹、大林 政行   |
| 15:00 S07-07 | MERMAIDフロートによる南太平洋下における地震P波記録<br>*大林 政行 <sup>1</sup> 、近藤 優子 <sup>2</sup> 、吉光 淳子 <sup>1</sup> 、村上 聡 <sup>2</sup> 、杉岡 裕子 <sup>2</sup> 、Simon Joel <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 神戸大学、 <sup>3</sup> プリンストン大学)   |
| 15:15 S07-08 | 有限周波数トモグラフィによる南米中部の深部速度構造推定<br>*近藤 優子 <sup>1</sup> 、大林 政行 <sup>2,1</sup> 、杉岡 裕子 <sup>1</sup> 、塩原 肇 <sup>3</sup> 、伊藤 亜妃 <sup>4</sup> 、篠原 雅尚 <sup>3</sup> 、岩森 光 <sup>3</sup> 、木下 正高 <sup>3</sup> 、Miller Matthew <sup>4</sup> 、Tassara Carlos <sup>5</sup> 、Ojeda Javier <sup>6</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大学、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>4</sup> Departamento de Geofísica, Universidad de Concepcion、 <sup>5</sup> Facultad de Ciencias, Universidad de Arturo Prat, Iquique, Chile、 <sup>6</sup> Departamento de Geofísica, Universidad de Chile, Chile)                              |
| 15:30 S07-09 | 地震波速度異方性を考慮したマルチスケール・グローバルトモグラフィ手法の開発<br>*高田 大輔、豊田 源知、趙 大鵬(東北大学)  |
| 15:45 S07-10 | 地球外核最下部(F層)の水平方向不均質<br>*大滝 壽樹 <sup>1</sup> 、金嶋 聡 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 地質情報研究部門、 <sup>2</sup> 九州大学)   |
| 16:00 S07-11 | 中米沈み込み帯三次元熱構造とスロー地震分布<br>*クルイ、季 穎鋒(中国科学院チベット高原研究所)  |

#は招待講演

# 会場案内図



口頭会場



ポスター会場 (10/31, 11/1)

# 団体展示のご案内

大会期間中、団体展示を行います。出展団体は下記の通りです。

## ◎通常展示 (フォワイエ)

- ・株式会社勝島製作所
- ・株式会社クレアクト
- ・株式会社ホームサイズモメータ
- ・株式会社ジオシス
- ・JAMSTEC海域地震火山部門
- ・イネーブラー株式会社
- ・白山工業株式会社
- ・株式会社東京測振
- ・サイズガジェット株式会社
- ・東京大学地震研究所
- ・SMARTSOLO INC.
- ・Progress in Earth and Planetary Science (PEPS)誌
- ・地球掘削科学 JAMSTEC/J-DESC

## ◎書籍販売 (F203)

- ・一般財団法人東京大学出版会
- ・シュプリング

